USER'S MANUAL

長期安心FAコントローラ

【製品型式: PCI-PE07F(W)】

PCIシリーズ Pentium III 850MHz
7スロット フルサイズ
[Windows XP Professional]

Interface®
www.interface.co.jp

■ 安全にお使い頂くために

安全にご利用頂くために、本製品をご使用になる前に必ず**取扱い上のご注意**を最後までお読みください。

本製品は機能追加、品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。
継続的にご利用頂く場合でも、必ず本書をお読みください。本製品のご使用には、ハードウェア，ソフトウェアの専門知識が必要です。

各図記号は以下のような意味を表しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

	禁止	行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。
	分解禁止	
	接触禁止	
	静電気注意	静電気により、製品破損の恐れがありますのでご注意ください。
	注意	注意すべき点を示しています。

本書に掲載されている会社名，製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

© 2013 Interface Corporation
株式会社インタフェースの許可なく複製，改変等を行うことはできません。

補償について

●本製品(ハードウェア, ソフトウェア)のシステム組み込み, 使用、ならびに本製品から得られる結果に関する一切のリスクについては、本製品の使用者に帰属するものとします。
●本製品に含まれるバグ、あるいは本製品の供給(納期遅延), 性能、もしくは使用に起因する付帯的損害もしくは間接的損害に対して、弊社に全面的に責がある場合でも、弊社はその製品に対する改良(正常に動作する)、代品交換までとし、金銭面での賠償の責任は一切負わないものとしますので、予めご了承ください。
●本製品(ソフトウェアを含む)は、日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

保証について

●弊社の保証規定によります。
ソフトウェア, 消耗品(バッテリ等)は除きます。
注)保証期間は弊社Web siteでシリアル番号を入力することにより、ご確認できます。
インターネットに接続できない方は、カスタマーサポートセンタまでご連絡ください。
●保証期間内は、原則として無償修理とします。(送料はお客様のご負担を条件とさせて頂きます。)
ただし、保証期間内であっても下記の場合は有償修理となります。
①お客様による輸送, 移動時の落下, 衝突等、お客様のお取扱いが適正でないために生じた故障, 損傷の場合および消耗品の交換
②火災, 地震, 水害等の天災および異常電圧による故障, 損傷の場合
③弊社製品に接続している弊社指定機器以外の機器の故障に起因する故障の場合
④弊社以外で修理, 改造した場合
⑤弊社製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取扱いによって生じた故障の場合
●保証は、本製品が日本国内で使用される場合に限り有効です。
●保証期間を過ぎた場合には、全て有償修理扱いとなります。
再修理の保証は、修理完了後6ヶ月以内で同一部品が故障した場合のみです。(ただし、修理が可能な箇所であることとします。)その場合は、前回の修理報告書を必ず添付してください。添付されていない場合は新規修理の扱いとなります。

輸出する際の注意事項

本製品は、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等輸出規制品に該当します。
従って、日本国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請等必要な手続きをお取りください。

■サポート体制

本製品についてのお問い合わせは、カスタマーサポートセンタで承ります。弊社Web siteのオンラインQA(「サポート」→「カスタマーサポートセンタ」をクリック)、E-mailまたはフリーダイヤルをご利用ください。

■修理・メンテナンス体制

故障した場合は弊社Web siteのオンライン修理依頼、もしくは修理依頼書を弊社Web siteからダウンロードし必要事項を記入の上、故障品と一緒に下記までお送りください。※ 送料はお客様にてご負担願います。

■お問い合わせ先

カスタマーサポートセンタ	TEL 0120-447213　FAX 0120-458257 (祝日および弊社休業日を除く月～金　AM9:00～PM5:00迄) E-mail　support@interface.co.jp
故障品お問い合わせ	カスタマーサポートセンタ　TEL(082)262-1630　FAX(082)262-1552 (祝日および弊社休業日を除く月～金 AM9:00～PM5:00迄)
故障品の送付	〒873-0231　大分県国東市安岐町下原1428 株式会社インタフェース 大分事業所 修理受付係

MP1-JPE07FW　Ver. 1.0　Vol. 1/1

製品ドキュメントのご紹介

本製品に関する情報を下記の通りご用意しております。
必要に応じて、適切なものをご利用ください。

マニュアル		内　容
USER'S MANUAL	無償	装置への組み込み作業時に必要となる基本的な作業に関する説明を行っています。 ・設置方法 ・外部機器との接続例 ・製品概要 ・機能説明 ・外部インタフェース部の仕様

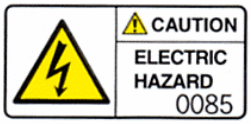
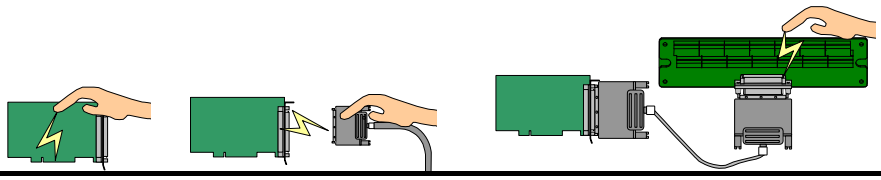
無償:弊社Web site(www.interface.co.jp)からのダウンロードは無料です。
有償:ドキュメント類の冊子(印刷物)およびソフトウェアのCD-ROMでの提供は有料販売となります。

取扱い上のご注意

⚠警告

	弊社製品は、人命にかかわるような状況下で使用される機器に用いられることを目的として設計，製造されたものではありません。 弊社製品を乗用移動体用，医療用，航空宇宙用，原子力制御用，海底中継用機器等、特殊用途をご検討の際には、弊社カスタマーサポートセンタまでご照会ください。 詳細は『61ページ　第13章　情報サービス』を参照してください。
	引火性ガス等の近くで使用しないでください。
	本製品を改造しないでください。(改造した場合の誤動作については、弊社は一切の責任を負いません。)

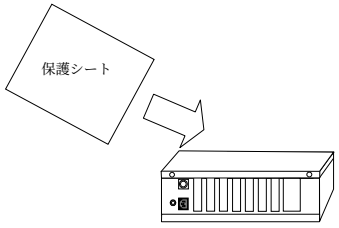
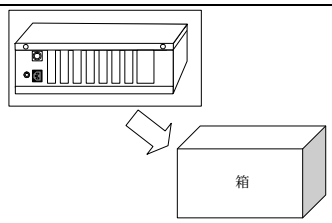
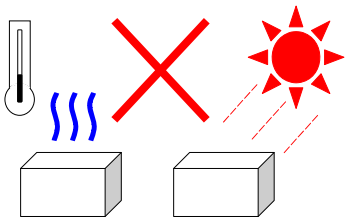
⚠注意

	以下の警告ラベル貼付付近には高温となる部品があるので、触らないでください。
	外部回路に高電圧(50V以上)を接続した場合、以下の警告ラベル貼付付近は感電する危険性があるので、触らないでください。 
	以下の警告ラベル貼付付近には回転する部品があるので、触らないでください。
	静電気は、本製品の故障の原因となる恐れがあります。本製品を扱う際は、接地された金属に触れる等して、人体等に帯電している静電気を放電してください。 下記のような取扱い時にはご注意ください。 ・本製品に触れる時 ・外部コネクタを接続する時 ・中継端子台の配線を行う時 

	外部ケーブルコネクタを接続したまま、インタフェースモジュールの挿抜は行わないでください。隣のインタフェースモジュールとショートを起こす可能性があります。
	本製品の金メッキ端子部や、はんだ面には手を触れないでください。 故障やケガをする恐れがあります。
	表示された正しい電源，電圧，使用温度，湿度範囲でお使いください。
	厳重な品質管理のもとに製造しておりますが、重要な設備、および故障することにより重大な損失の発生が予想される設備への採用に際しては、重大事故にならないよう安全装置を設置してください。
	衝撃，振動，磁気や静電気の加わる場所での保管や、使用は行わないでください。故障や誤動作の原因となります。
	本製品を以下のような場所で保管および使用をしないでください。 ・極端に高温，多湿な場所 ・直射日光の当たる場所 ・粉塵，油煙，ほこり等の多い場所 ・激しい振動，衝撃の加わる場所 ・薬品の粉末や蒸気が飛散、または発散している場所 また、本製品付近に異物(水や液体，金属類等)を近づけないでください。
	各モジュールに接続されるケーブルが無理に曲がるような設置をしないでください。
	矩形波が出力される機器(UPS(無停電電源装置)や車載用AC電源等)に接続しないでください。火災の原因となることがあります。
	弊社インタフェースモジュールのカードエッジ部にインタフェースモジュール挿抜検出機能を持たせることで、コンピュータの電源が“ON”の時誤ってインタフェースモジュールの挿抜を行った場合でも、インタフェースモジュールの故障を防止します。 Safety Busは、インタフェースモジュールのHot Swapを保証したものではありません。 インタフェースモジュールが無くなることによってOSのエラーが起こった際、ソフトウェアが停止することに対して保護はできません。

保管

本製品を保管する際は、購入した時と同様の状態で保管してください。

	1. 本製品を保護シートで包装します。
	2. パッケージ(箱)に入れます。
	3. 直射日光と湿気を避けて、常温で保管します。

※ 製品によって形状が異なります。

目 次

製品ドキュメントのご紹介 5

取扱い上のご注意 6

第 1 章　製品概要 11

1.1　概要 11

第 2 章　製品構成 12

2.1　各部名称 12
2.1.1　システムユニット 12
2.2　CPU モジュールレイアウト 13
2.3　外形寸法図 14

第 3 章　セットアップ 16

3.1　構成品 16
3.2　電源を“OFF” 16
3.3　インタフェースモジュールの実装 17
3.4　周辺機器の接続 19
3.5　電源ケーブルの接続 19

第 4 章　CF 使用方法 20

4.1　CF スロット仕様 20
4.2　活線挿抜 20
4.3　CF 挿抜方法 21
4.3.1　CF 挿入方法 21
4.3.2　CF 取り出し方法 22

第 5 章　電源操作方法 23

5.1　電源 ON/OFF 方法 23

第 6 章　OS 操作方法 24

6.1　OS 起動方法 24
6.2　OS 停止方法 24
6.3　プロダクトキー入力およびライセンス認証(アクティベーション) 25
6.4　ディスプレイ解像度について 25

第 7 章　仕様 26

7.1　基本仕様 26

第 8 章　CPU モジュール仕様　28

8.1　概要 28
8.2　機能と特長 28
8.3　ハードウェア仕様 29
8.4　外形寸法図 31
8.5　各種スイッチの設定と出荷時設定 32
8.6　インタフェース仕様 33
8.6.1　PS/2 キーボード/マウスコネクタ 33
8.6.2　パラレルポートコネクタ 34
8.6.3　シリアルポートコネクタ 35
8.6.4　LAN コネクタ 36
8.6.5　USB コネクタ 36
8.6.6　VGA コネクタ 37
8.6.7　FDD コネクタ 38
8.7　PCI バスピンアサインメント 39

第 9 章　BIOS セットアップ　40

9.1　BIOS セットアップの起動 41
■Standard CMOS Setup 42
■Advanced COMS Setup 43
■Advanced Chipset Setup 45
■Power Management Setup 47
■PCI/Plug and Play Setup 49
■Peripheral Setup 51
■Hardware Monitor Setup 52
■Auto-Detect Hard Disks 52
■Change Supervisor Password 53
■Change User Password 54

第 10 章　メンテナンス　55

10.1　CPU モジュールの取り外し 55
10.2　CPU モジュールの実装 57

第 11 章　防塵フィルタ清掃　59

11.1　防塵フィルタの清掃 59

第 12 章　オプション品一覧　60

12.1　オプション品一覧 60

第 13 章　情報サービス　61

13.1　情報の入手方法 61
13.2　製品使用登録 61
13.3　FAQ(よく寄せられる質問) 61

第1章 製品概要

1.1 概要

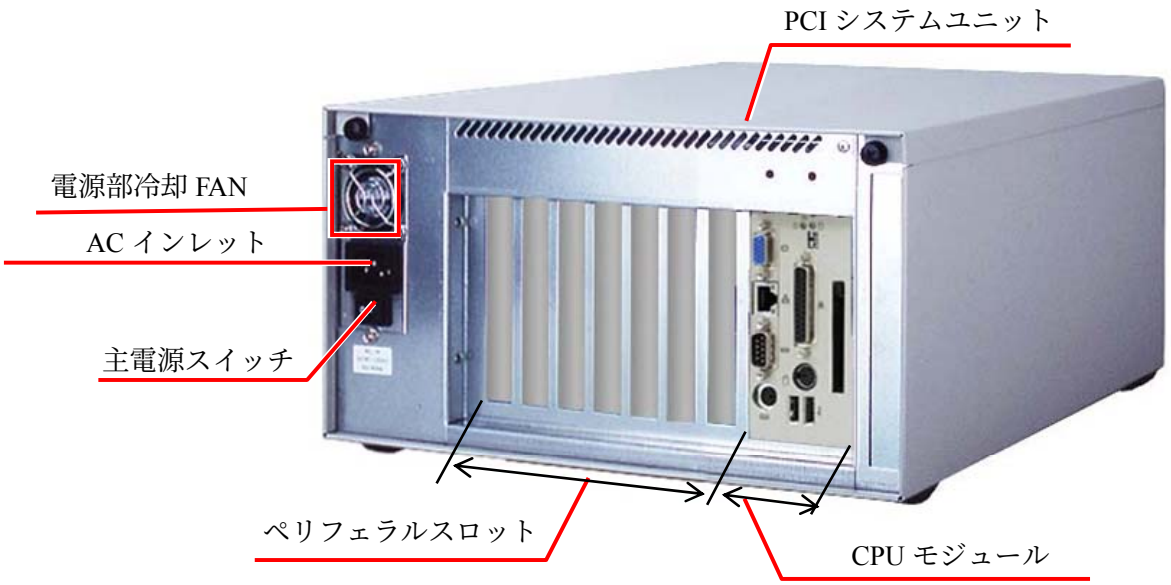
PCI-PE07F(W)は、Intel Pentium III 850MHzプロセッサを搭載した、PCIシリーズFAコントローラです。
インタフェースモジュールを7枚拡張できるスロットを持ちます。
OSにWindows XP Professionalを搭載し、コンピュータで動作するオフィスソフトウェア等、豊富なアプリケーションプログラムをそのまま実行することができます。
CPUパネル面のCFスロットをリムーバブルディスクとして使用できます。

第2章　製品構成

2.1　各部名称

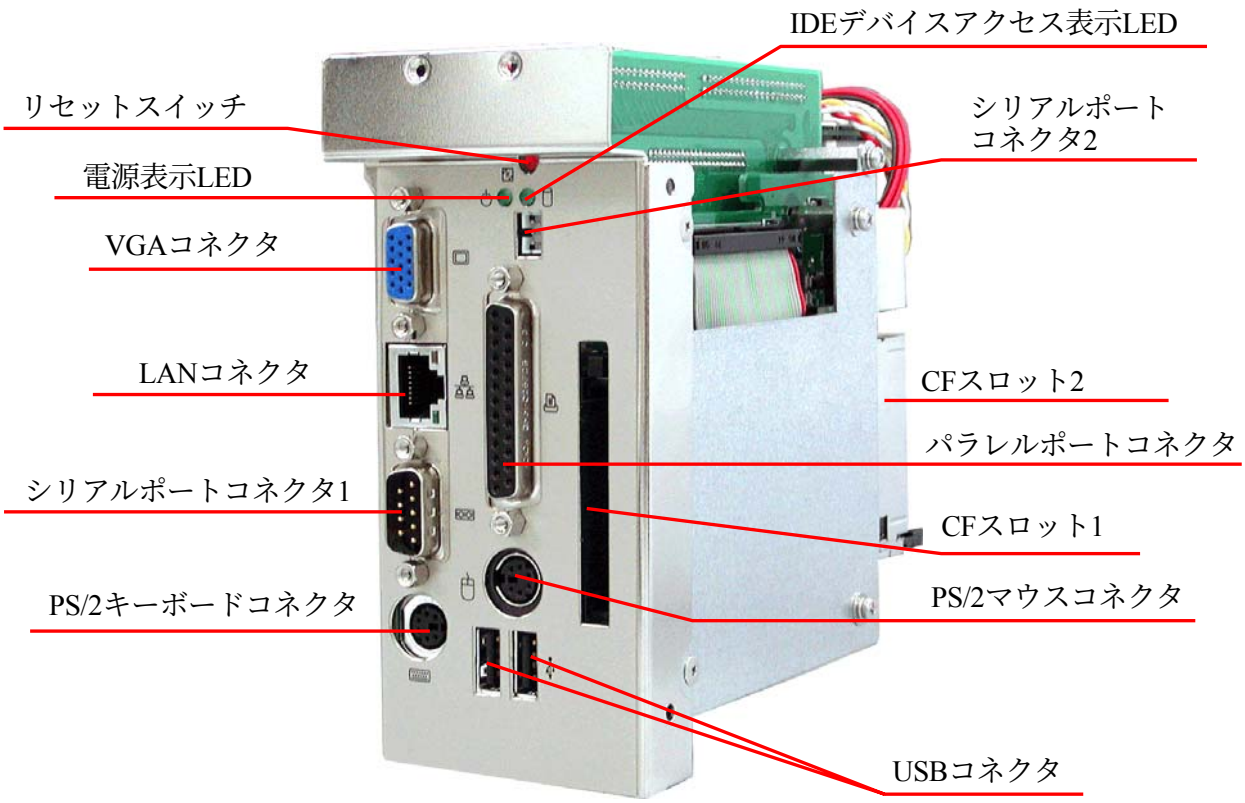
本製品の各部名称は以下のとおりです。

2.1.1　システムユニット



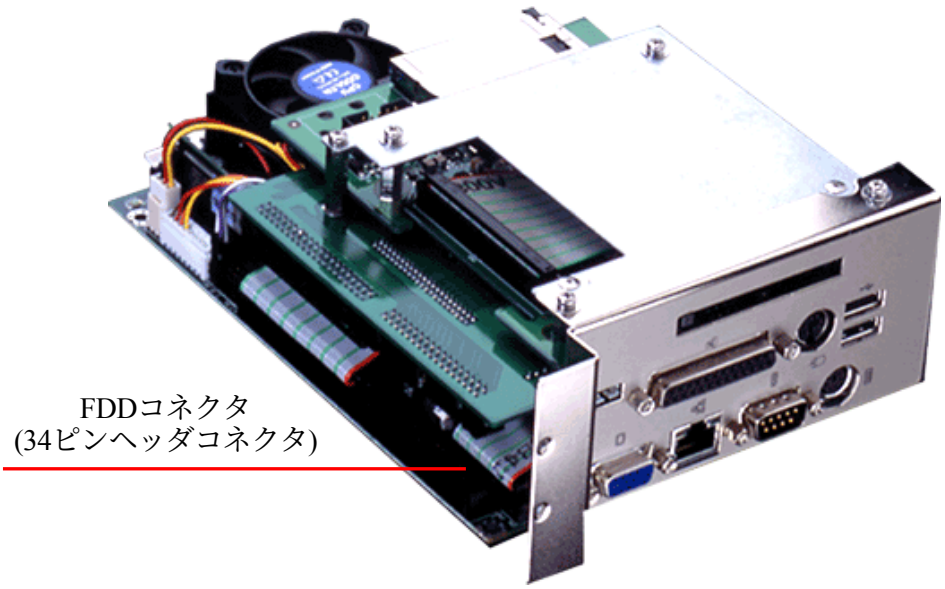
2.2 CPUモジュールレイアウト

CPUモジュールのレイアウトを以下に示します。

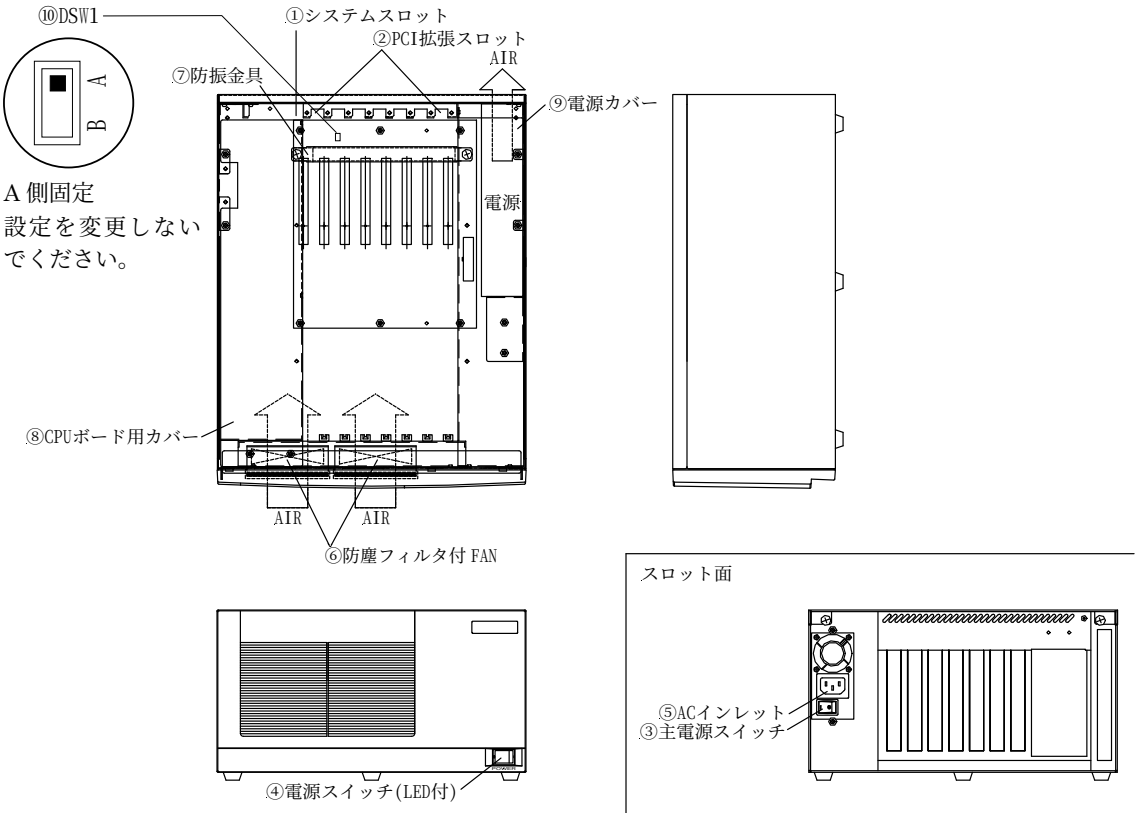


⚠注意

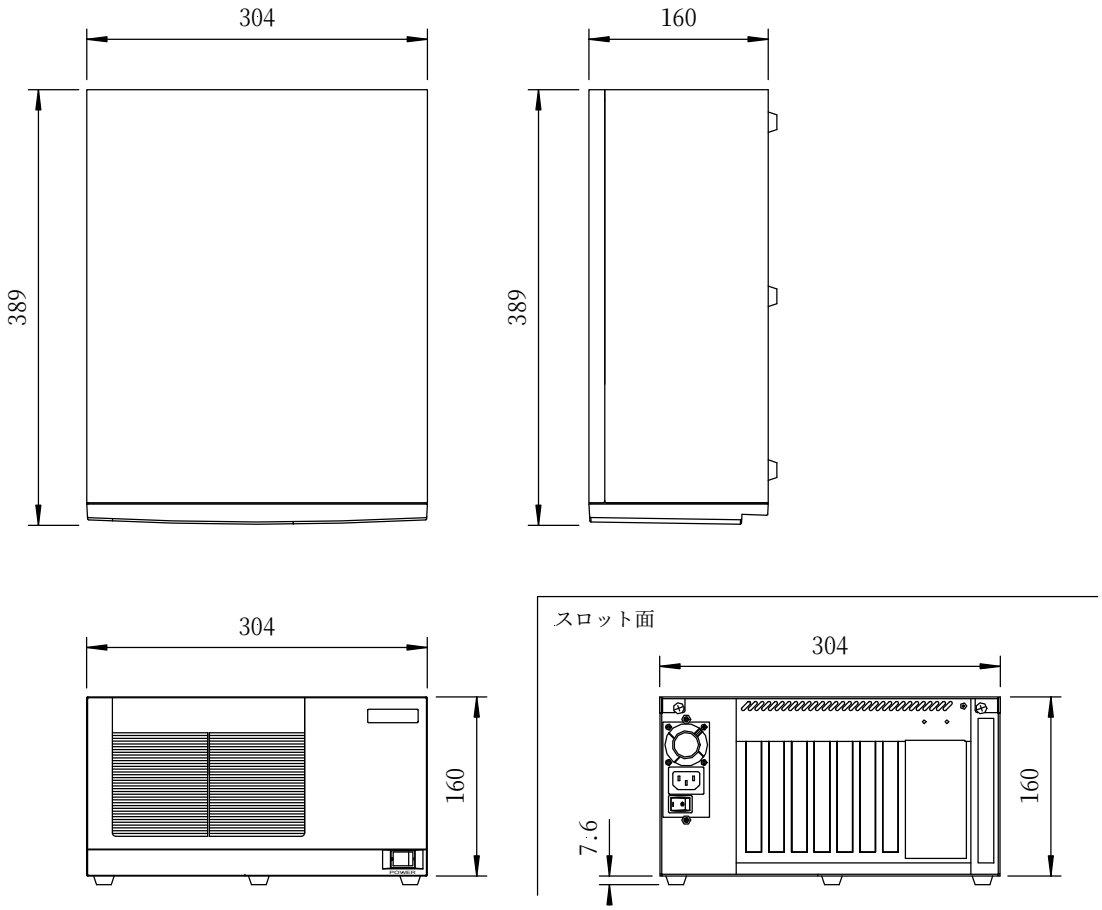
!	**本製品にCFスロットを2スロット搭載していますが、CFスロット1のみ使用することができます。**



2.3 外形寸法図

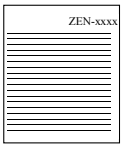

⑩DSW1
A
B
A 側固定
設定を変更しない
でください。
①システムスロット
②PCI拡張スロット
AIR
⑦防振金具
⑨電源カバー
電源
⑧CPUボード用カバー
AIR
AIR
⑥防塵フィルタ付 FAN
④電源スイッチ(LED付)
スロット面
⑤ACインレット
③主電源スイッチ

単位[mm]
公差:±0.5mm



第3章　セットアップ

3.1　構成品

名称 / Item	図 / Figure	数量 / Qty
製品本体 Product 製品によって形状が異なります。 The photo is for reference purpose only. ブランクパネルはオプション品です。 Blank panels are optional products.		1
OSライセンス証書(A4用紙) License terms (A4 paper)		1
M3ネジ M3 screw		7
電源ケーブル Power cable		1

また、以下の物を別途ご用意ください。

・PCIシリーズ インタフェースモジュール

3.2　電源を“OFF”

各種インタフェースモジュールを実装する前に、本製品につながっている電源ケーブルを抜いてください。

セットアップする際は、故障防止や安全のために次の点にご注意ください。

⚠注意

!	**インタフェースモジュールやケーブルの着脱は電源ケーブルを抜いて行ってください。**

3.3 インタフェースモジュールの実装

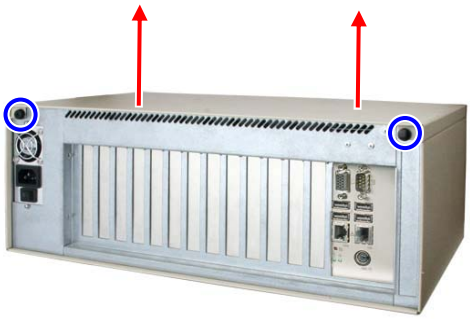
※ 図は実際の製品と異なる場合があります。

①システムの電源が“OFF”であることを確認し、電源ケーブルを抜きます。

⚠注意

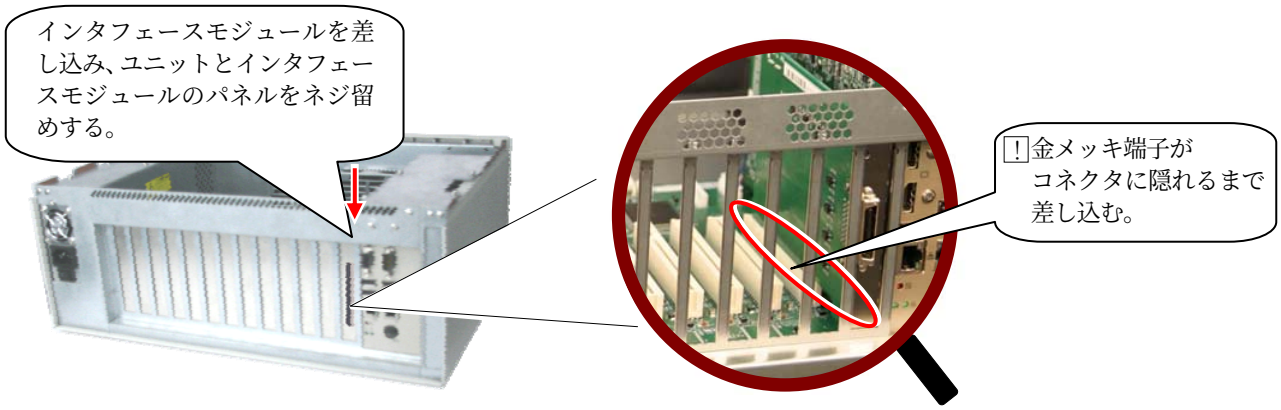
	以下の作業は、必ず電源ケーブルを抜いて行ってください。
	本製品に直接触れると、人体に発生する静電気により故障する可能性があります。取り付け・取り外しの時は、静電気防止用手袋を装着するか、事前に金属部分に触れて人体の静電気を放電してください。
	ペリフェラルスロットには高さ106.68mm**のインタフェースモジュールを推奨します。 それ以上のサイズを挿入する場合、防振金具は取り付けられなくなります。**

②カバーを留めるネジを外し、カバーを外します。

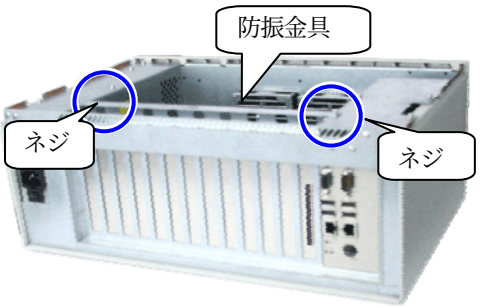


③ネジを外し、防振金具を外します。

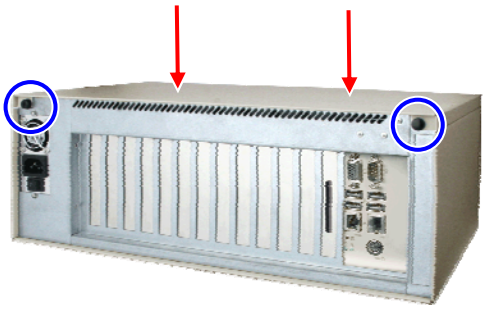
④金メッキ端子がコネクタに隠れるまで、ペリフェラルスロットへインタフェースモジュールを上から差し込み、ネジ留めします。



⑤防振金具を取り付けます。



⑥カバーをはめ込み、ネジを留めます。



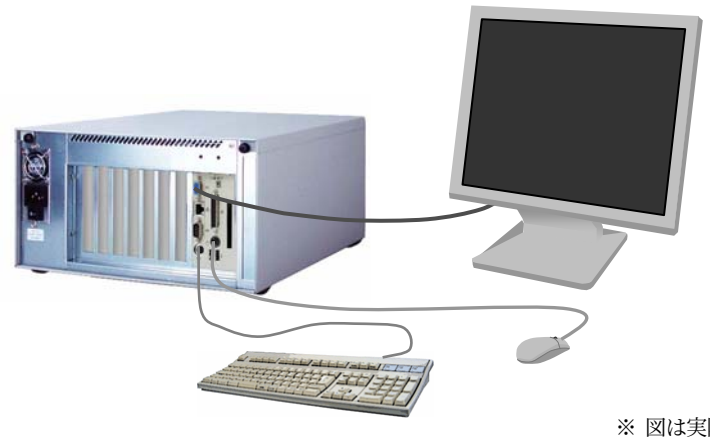
以上で、インタフェースモジュールの実装は完了です。

⚠注意

!	**本製品を使用するシステムは**PCI 32**ビット環境となります。**64**ビットインタフェースモジュールは、**PCI 32**ビット転送に制限されます。**

3.4 周辺機器の接続

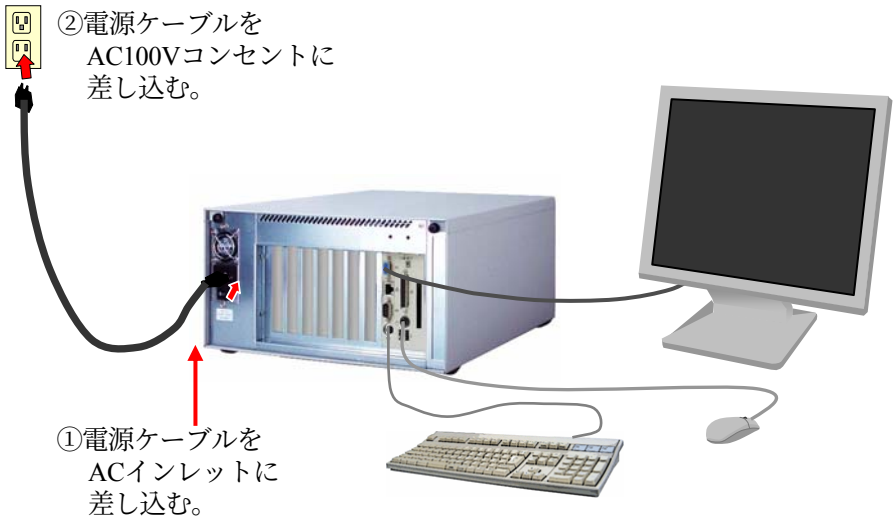
周辺機器を接続します。



※ 図は実際の製品と異なる場合があります。
※ イメージ図ですので、実際のサイズとは異なります。

3.5 電源ケーブルの接続

下図のように電源ケーブルを接続します。



⚠注意

	付属の電源ケーブルはAC100V**用です。**AC200V**で使用される場合は、定格**7A/250V**以上のケーブルをお客様でご用意ください。定格未満のケーブルを使用すると、ユニット故障や火災につながる恐れがあります。**
	電源ケーブルをAC100V**コンセントから抜いて、再度**AC100V**コンセントに差し込む時は、**10**秒以上間隔をあけてください。**

第4章　CF使用方法

⚠注意

!	**本製品にCFスロットを2スロット搭載していますが、CFスロット1のみ使用することができます。**

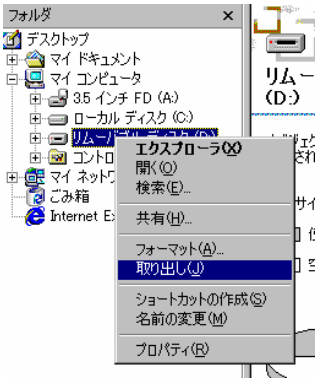
4.1　CFスロット仕様

スロット名	ブート機能	稼働時の活線挿抜
CFスロット1	可	可

4.2　活線挿抜

①本製品を起動します。

②CFスロット1にCFを挿入すると、リムーバブルディスクとして認識されます。



③CFスロット1からCFを抜く場合、そのディスクのファイルやウィンドウが開かれていないことを確認し、エクスプローラ上で「取り出し」を実行します。

④エクスプローラ上でCFに割り当てられたドライブの中身が空になったことを確認し、CFスロット1からCFを抜きます。

4.3 CF挿抜方法

“CFスロット1(パネル面側CFスロット)”は、システム稼働時にCFの活線挿抜(ホットプラグ)ができます。

⚠注意

	OSのシステムをインストールしたCFは、システム稼働中に挿抜できません。挿抜した場合に起きたトラブルについては弊社は一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

※ 図は実際の製品と異なる場合があります。

4.3.1 CF挿入方法

①下図のようにCFをCFスロットに挿入します。

⚠注意

	CFを挿入する向きにご注意ください。

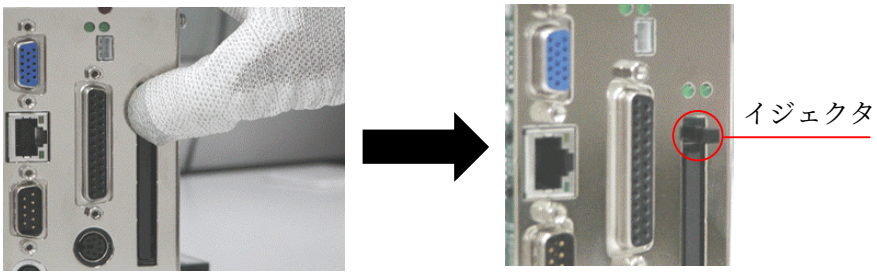
②CFを奥までゆっくりと挿入します。

⚠注意

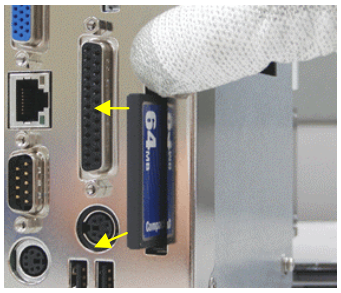
	CFを挿入する場合は、IDEデバイスアクセス表示LEDが点灯していないことを確認してから行ってください。

4.3.2 CF取り出し方法

①下図のように挿抜用のイジェクタ軽く押し込むとイジェクタが飛び出します。



②イジェクタを奥まで押し込むとCFがCFソケットより取り出されます。



⚠注意

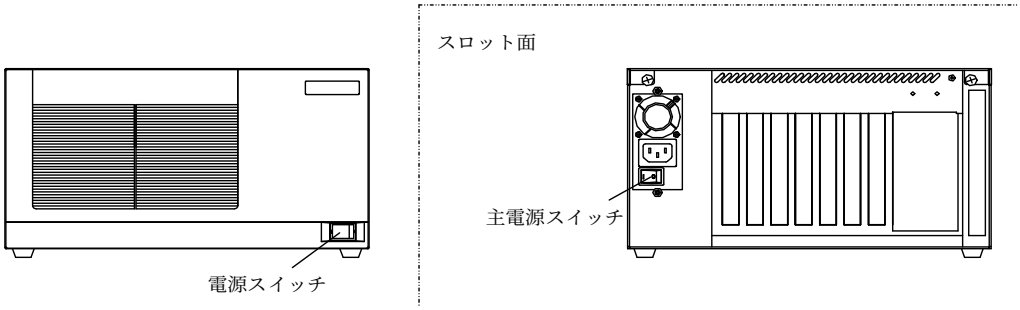
!	**CFを取り外す場合は、IDEデバイスアクセス表示LEDが点灯していないことを確認してから行ってください。**

第5章　電源操作方法

5.1　電源ON/OFF方法

<ON方法>
①スロット面にある主電源スイッチをONにします。
②電源スイッチをONにします。

<OFF方法>
①電源スイッチをOFFにします。
②スロット面にある主電源スイッチをOFFにします。



第6章　OS操作方法

6.1　OS起動方法

本製品を起動するとWindows XPの初期設定(「Windowsへようこそ」)が始まります。ここでの操作方法は、画面の指示に従ってください。

本製品にプリインストールされているWindows XPは、プロダクトキーの入力および、ライセンス認証(プロダクトアクティベーション)が必要です。

⚠注意

	初期設定が完了するまで電源を切ることができません。必ずキーボード, マウス, ディスプレイの接続が完了してから電源を入れてください。

6.2　OS停止方法

「スタート」メニューから「シャットダウン」を選択します。シャットダウンが完了すると、本製品の電源が待機状態になります。

⚠注意

	本製品の初期起動時の解像度は、表示解像度640×480(**仮想デスクトップ**800×600)**です。**

6.3 プロダクトキー入力およびライセンス認証(アクティベーション)

プロダクトキーは、ライセンス認証時に必ず入力する必要があります。
プロダクトキーの入力およびライセンス認証手順は以下の通りです。

1. タスクバーに「鍵」マークのアイコンが表示されていますので、クリックしてください。

2. 「Windowsのライセンス認証の手続きを行いましょう」という画面が出たら[はい、ライセンス認証専用窓口に電話してライセンス認証の手続きを行います]を選択します。

3. 「電話でWindowsのライセンス認証の手続きを行う」という画面では、[プロダクトキーの変更]をクリックします。

4. プロダクトキーの入力を求められますので、ユニットに貼付されたラベルに記載されたプロダクトキーを入力してください。

5. [電話]をクリックして元の画面に戻ります。

6. 指示に従ってライセンス認証を継続してください。

6.4 ディスプレイ解像度について

本製品に搭載されているグラフィックスコントローラはLCD, CRTの同時出力をサポートしています。
BIOSの初期設定ではデジタルLCD, VGA出力を同時に出力する設定になっており、画面サイズは640×480の解像度でのみ表示されます。
ドライバを正しく組み込み画面サイズの設定を変更した場合にも、仮想デスクトップの状態になります。その場合はBIOSセットアップのAdvanced Chipset Setup→LCD CRT Selectionの設定を「CRT Only」に変更してください。

第7章 仕様

7.1 基本仕様

項 目	仕 様					
外形サイズ	304(W)×389(D)×160(H) mm (突起部含まず)					
質量	7.0kg					
入力電源仕様	AC90V～AC264V(ワールドワイド入力)(50Hz/60Hz) ※ 付属のACケーブルは100V用です。					
電源容量※1	定格出力電圧	+3.3V	+5V	+12V	-12V	+5VSB
	定格出力電流	6A	12A	5A	0.5A	1.5A
	定格出力電力	61W(合計)				
許容電力	最大210W※2					
バス仕様	PCI Local Bus Specification Rev.2.1 5V信号環境					
挿入可能 インタフェース モジュールサイズ	312(D)×122(H) mm (基板部のみ) ※ ペリフェラルスロットには高さ106.68mmのインタフェースモジュールを推奨します。それ以上のサイズを挿入する場合、防振金具は取り付けられなくなります。					
冷却FAN	・電源部冷却FAN:有り ・ユニット冷却FAN:有り					
防塵フィルタ	有り					
スロット数	・ペリフェラルスロット×7 ・システムスロット×1(CPUモジュール実装済み)					
使用環境条件	周囲温度:0℃ー50℃(HDD部:5℃ー50℃) 湿度:20%ー80%(非結露) 温度範囲はスクリーニング出荷できます。(温度 -5℃ー60℃)					

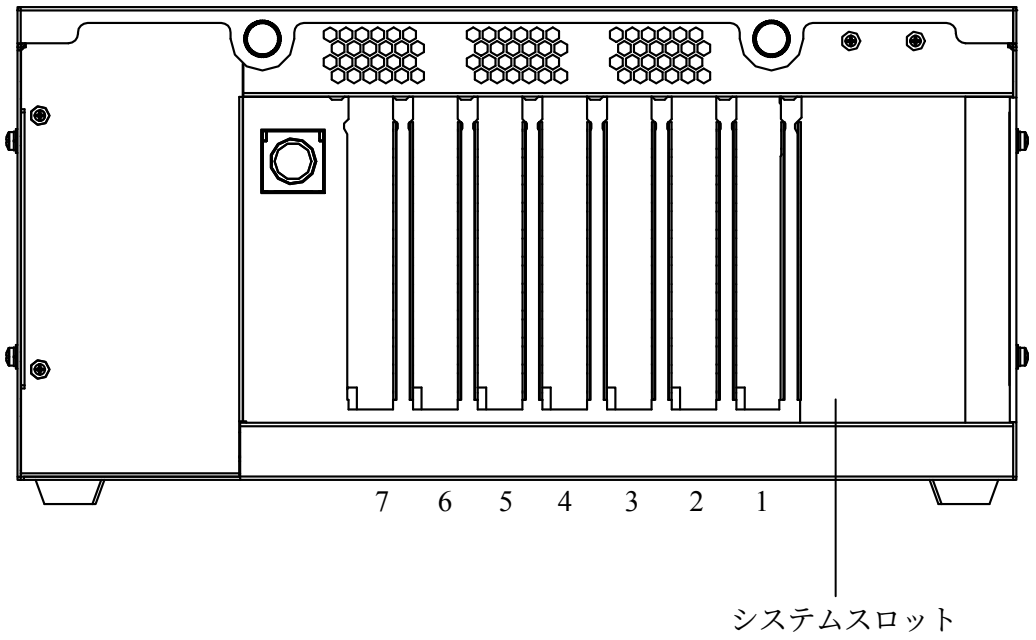
※1 CPU, インタフェースモジュール, 周辺装置(USBドライブ, キーボード等)の消費電流, 消費電力は含まれません。

※2 各出力の合計が許容電力範囲内でご使用ください。

⚠注意

	ユニット内部には高電圧, 高温部分があります。ケガや感電事故につながりますので分解しないでください。
	本製品の稼働中、本体外装の温度が上がりますが、これはカバーを通じて放熱を行っているためで、故障ではありません。長期に高温状態が続きますと、部品の劣化を早め、故障の原因となります。本製品の排熱, 換気方法を考慮の上、設置を行ってください。
	ユニット内には、液体やネジ, 金属片等の異物を入れないでください。回路のショートによる故障や、火災につながります。

<スロット番号説明>



第8章 CPUモジュール仕様

8.1 概要

本CPUモジュールは、Intel Pentium III 850MHzプロセッサを搭載した組み込み用途に最適なPCIバス仕様のPC/AT互換CPUモジュールです。HDDを使用することで従来のパーソナルコンピュータの置き換えシステムを構築することができます。
本製品と拡張インタフェースモジュールを組み合わせることで、柔軟なシステムを構築できます。

8.2 機能と特長

●CPU
Intel Pentium IIIプロセッサ 850GHz(FSB:100MHz)を搭載しています。

●チップセット
チップセットは、Intel 82443BXを使用しています。

●メモリ
PC/100MHzに準拠したSDRAM対応の168ピンDIMMを使用しています。

●I/Oコントローラ
SMSC FDC37C672を使用しています。

●周辺機器インタフェース
・IDEインタフェース×1(PIO MODE0-4, Ultra DMA/33)
・FDDインタフェース×1(2 mode)
・シリアルポート×2(RS-232Cインタフェース)
・USB×2(Rev.1.1準拠)
・パラレルポート×1(SSP, EPP, ECPモードをサポート)
・PS/2キーボード×1
・PS/2マウス×1
・VGA×1

●Ethernet
10BASE-T/100BASE-TXに対応したRTL8139C(Realtek製)を使用しています。

●グラフィックス機能
Asiliant69000HiQVideoアクセラレータ(ビデオメモリ2MB内蔵)を使用しています。
VGA出力に対応したディスプレイを接続できます。

●BIOS
AMI BIOS(256kBフラッシュメモリ)を搭載しています。

8.3 ハードウェア仕様

項　目		仕　様
CPU	プロセッサ	Intel Pentium III 850MHz
	ソケット形状	Socket 370
	パッケージ	FC-PGA
	FSB	100MHz
	2次キャッシュ	256kB
OS		Windows XP Professional
起動デバイス		HDD 40GB
リムーバブルCFスロット		有り
チップセット	ノースブリッジ	Intel 82443BX(440BX)
	サウスブリッジ	Intel 82371E(PIIX4E)
メモリ	対応メモリ	PC/100　168ピン　DIMM
	容量	256MB
バス仕様	対応バス	PCI ローカルバス(Rev.2.1以上), 32ビット, 33MHz, 5V信号環境
	バス幅	32ビット※1
	バスマスタ	メインメモリDMA対応,　全スロットバスマスタ対応
グラフィックス	コントローラ	Asiliant 69000
	ビデオメモリ	VRAM 2MB SDRAM(コントローラ内蔵)
	解像度※2	640×480(High Color), 800×600(High Color), 1024×768(High Color), 1280×1024(256色)
インタフェース	VGA	1ポート(高密度15ピンD-subコネクタ(メス))
	シリアルポート	2ポート　RS-232C(16550互換, 9ピンD-subコネクタ(オス)/3ピンコネクタ×1)
	パラレルポート	1ポート(IEEE 1284準拠, D-sub 25ピンコネクタ×1) SPP/EPP/ECPモードをサポート
	キーボード	1ポート(PS/2互換, 6ピン丸形DINコネクタ)
	マウス	1ポート(PS/2互換, 6ピン丸形DINコネクタ)
	USB※3	Series Aコネクタ×2ポート USB Rev.1.1準拠(最大供給電流:0.5A(1ポートあたり)) UHCI(Universal Host Controller Interface)
	Ethernet	1ポート(100BASE-TX/10BASE-T,　RJ-45モジュラーソケット) コントローラ:RTL8139C(Realtek製) 規格:IEEE 802.3 10BASE-T/100BASE-TX IEEE 802.3u　オートネゴシエーション IEEE 802.3x 100BASE-TX　フローコントロール
	IDE	1ポート Ultra DMA/33対応 2mmピッチ44ピンヘッダコネクタ(使用済み)
	FDD	1ポート(2モード) 2.54mmピッチ34ピンヘッダコネクタ

項　目	仕　様
BIOS	AMI Flash BIOS(256kB)
スイッチ	リセットスイッチ×1
LED	電源表示LED×1 IDEデバイスアクセス表示LED×1
RTC	精度:月差1分以内
カレンダ時計バックアップ電池	リチウム電池 寿命:約3～4年※4(無通電状態20℃保管時)
消費電流※5	DC+5V(±5%):6.1A(TYP) DC+12V(±10%):1.0A(TYP)
冷却FAN	無し

⚠注意

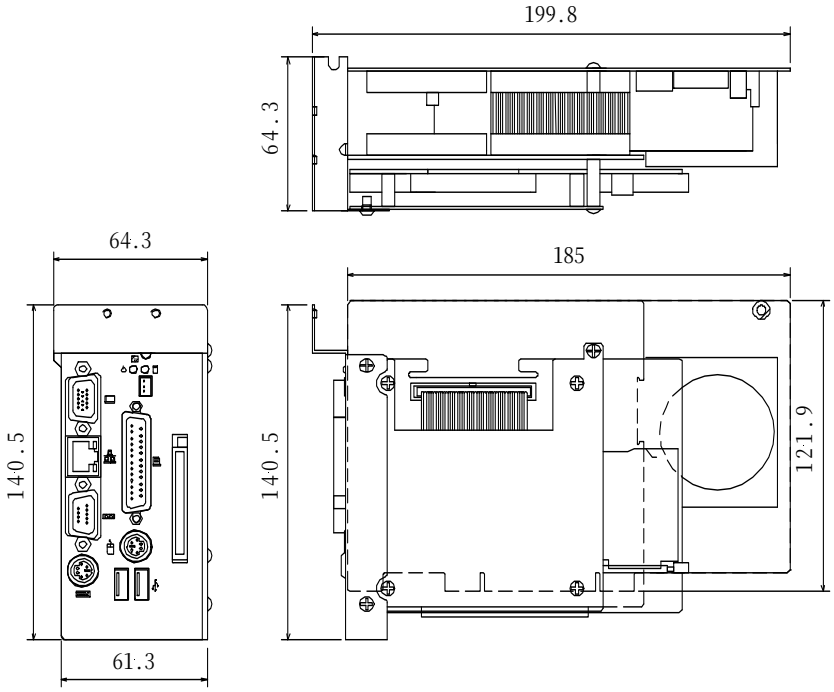
!	**※1 本製品を使用するシステムはPCI 32ビット環境となります。64ビットインタフェースモジュールは、PCI 32ビット転送に制限されます。**
!	**※2 使用するOSのデバイスドライバにより、サポートする解像度は異なります。**
🚫	**※3 USBポートのバスパワー出力(VB)はDC+5V(0.5A)以下です。USBポートに接続される機器のうちバスパワーを使用する全ての機器の消費電流の総和が0.5A以下となるようにしてください。0.5Aを超えた場合、本製品を故障させる可能性があります。システム全体の消費電力が、許容電力を超えないようにご使用ください。**
!	**※4 通電している場合、リチウム電池は消耗しません。 起動時ごとに時計が初期化されている場合は、リチウム電池が消耗している恐れがあります。電池の交換は、弊社カスタマーサポートセンタまでお問い合わせください。**
!	**※5 記載している消費電力はCPU使用率が100%の値です。 インタフェースモジュール，周辺装置(USBドライブ，キーボード等)の消費電流，消費電力は含まれません。**

お知らせ

!	**弊社指定のCF以外は、動作しないまたは極端にアクセスが遅くなる場合があります。 弊社オプションのCFの使用をお勧めします。 また、起動確認済みCFについては、弊社Web site(www.interface.co.jp)を参照してください。**

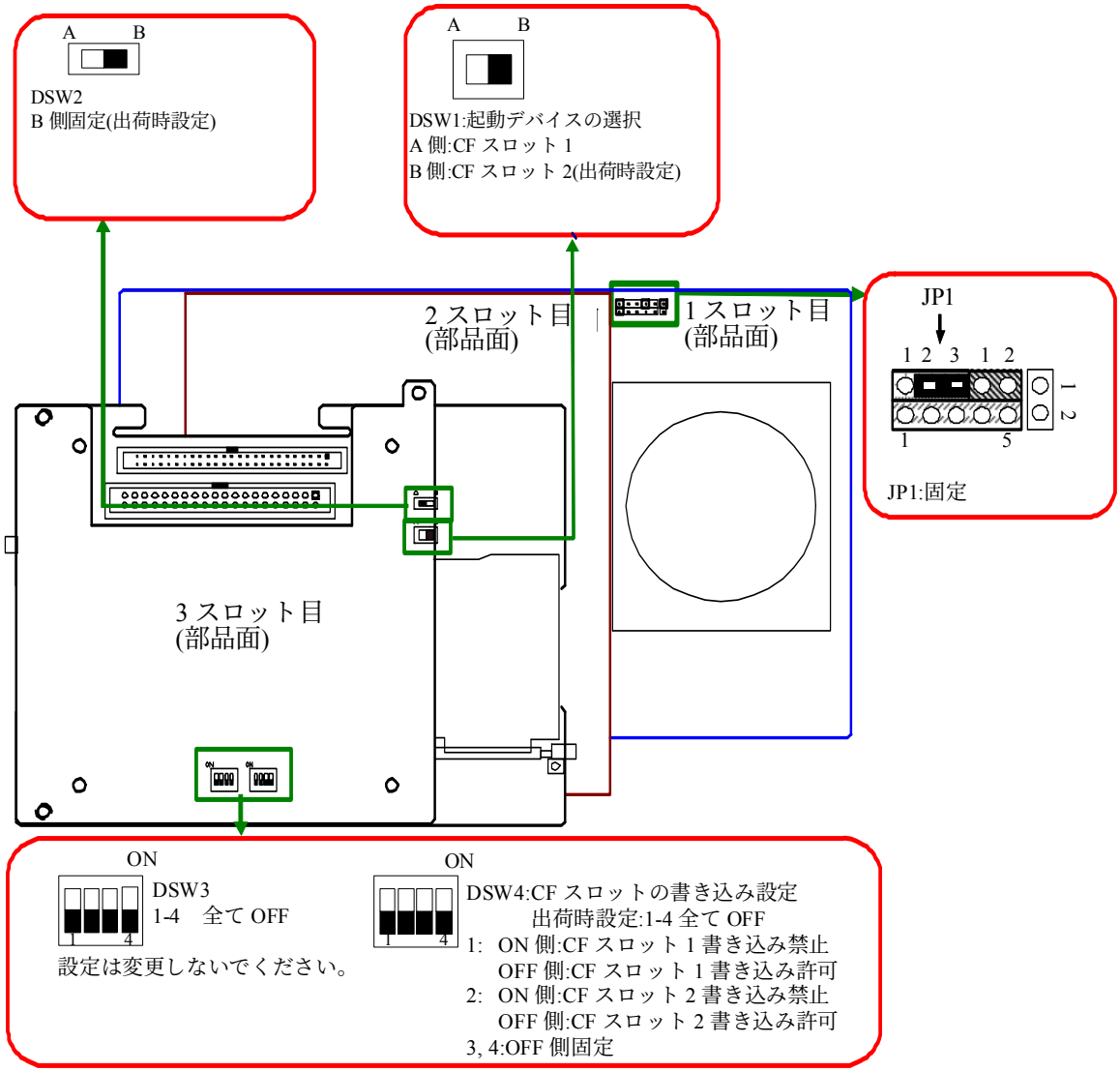
8.4 外形寸法図

単位[mm]



8.5 各種スイッチの設定と出荷時設定

各種スイッチの設定と出荷時設定は以下の通りです。



⚠注意

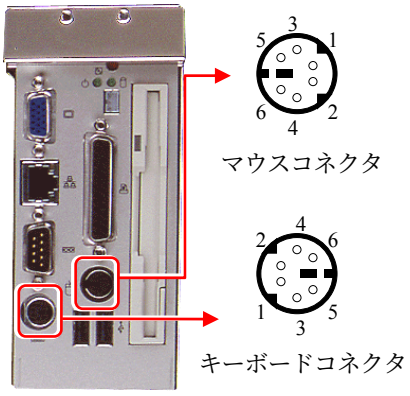
!	**本製品にCFスロットを2スロット搭載していますが、CFスロット1のみ使用することができます。**

8.6 インタフェース仕様

※ 図は実際の製品と異なる場合があります。

8.6.1 PS/2キーボード/マウスコネクタ

PS/2互換キーボード用の6ピン丸形DINコネクタとPS/2互換マウス用の6ピン丸形DINコネクタです。



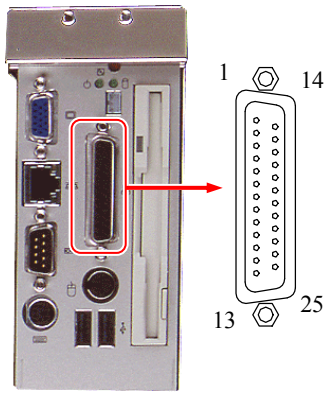
信号名	ピン番号
DATA	1
NC	2
GND	3
VCC	4
CLK	5
NC	6

⚠注意

	本コネクタに接続したケーブルはシステム稼働中に抜かないでください。

8.6.2 パラレルポートコネクタ

本コネクタには、プリンタ, スキャナ等のパラレル機器を接続することができます。



信号名	ピン番号	信号名	ピン番号
/STROBE	1	/AUTOFD	14
D0	2	/ERROR	15
D1	3	/INIT	16
D2	4	/SELIN	17
D3	5	GND	18
D4	6	GND	19
D5	7	GND	20
D6	8	GND	21
D7	9	GND	22
/ACK	10	GND	23
BUSY	11	GND	24
PE	12	GND	25
SEL	13		

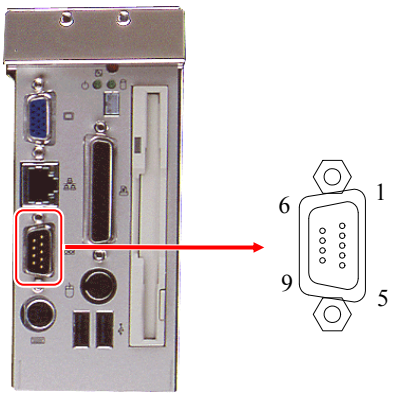
⚠注意

本コネクタに接続したケーブルはシステム稼働中に抜かないでください。

8.6.3 シリアルポートコネクタ

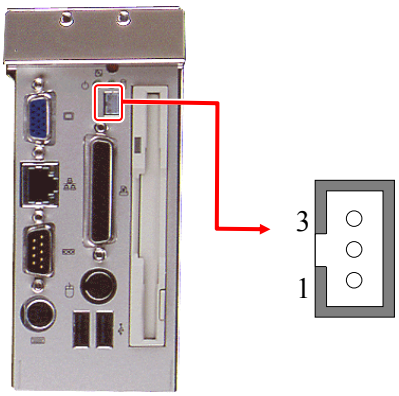
本コネクタには、モデム等のシリアル通信機器を接続することができます。
本ポートはRS-232Cインタフェースとして使用することができます。

<シリアルポートコネクタ1>



信号名	ピン番号	信号名	ピン番号
CD	1	DR	6
RD	2	RS	7
SD	3	CS	8
ER	4	CI	9
SG	5		

<シリアルポートコネクタ2>



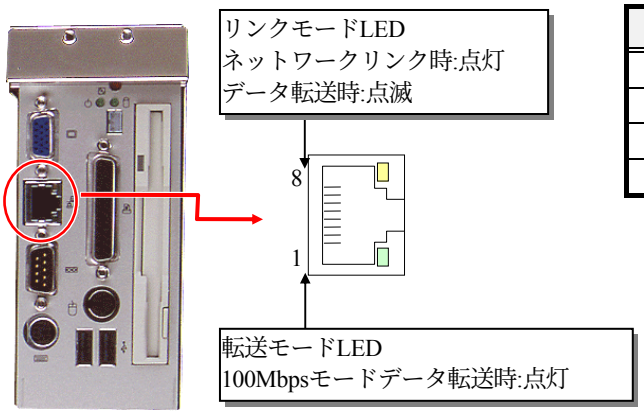
信号名	ピン番号
SD	1
RD	2
SG	3

⚠注意

	本コネクタに接続したケーブルはシステム稼働中に抜かないでください。
	シリアルポート2は通常のシリアルポートとはコネクタピンアサインメントが異なります。本コネクタに接続可能かどうかは『39ページ 8.7 PCIバスピンアサインメント』および、ご使用機器の取扱説明書をご確認ください。

8.6.4 LANコネクタ

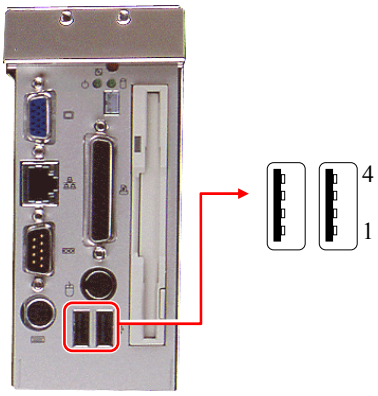
本製品ではLANコントローラにRTL8139C(Realtek製)を使用しています。
100BASE-TX/10BASE-Tの転送をサポートします。



信号名	ピン番号	信号名	ピン番号
SD+	1	NC	5
SD-	2	RD-	6
RD+	3	NC	7
NC	4	NC	8

8.6.5 USBコネクタ

2つのUSBポートをサポートしています。



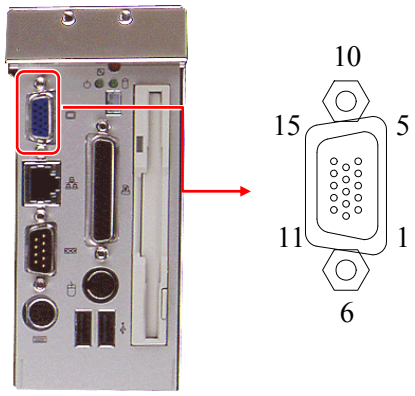
信号名	ピン番号
VB	1
D-	2
D+	3
GND	4

⚠注意

USBポートのバスパワー出力(VBUS)**はDC+5V(0.5A)以下です。USBポートに接続される機器のうちバスパワーを使用する全ての機器の消費電流の総和が**0.5A**以下となるようにしてください。**0.5A**を超えた場合、本製品を故障させる可能性があります。システム全体の消費電力が、許容電力を超えないようにご使用ください。**

8.6.6 VGAコネクタ

本コネクタには、CRTディスプレイまたはアナログRGB接続のLCDを接続することができます。
本製品ではグラフィックスコントローラにAsiliant 69000が搭載されています。



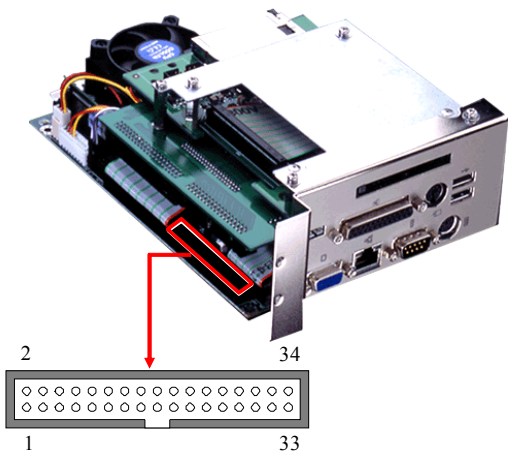
信号名	ピン番号	信号名	ピン番号
RED	1	NC	9
GREEN	2	GND	10
BLUE	3	NC	11
NC	4	NC	12
GND	5	HSYNC	13
RGND	6	VSYNC	14
GGND	7	NC	15
BGND	8		

⚠注意

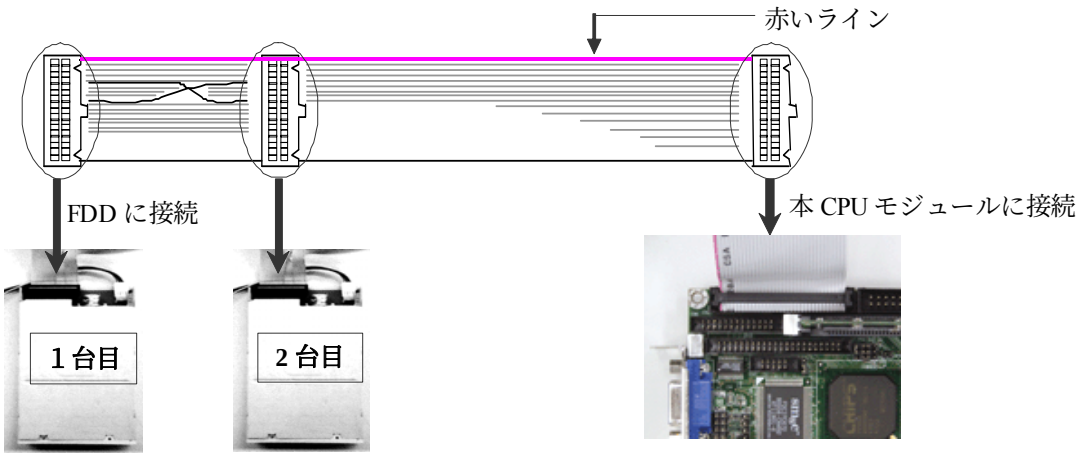
	本製品では拡張VGAカードはサポートしておりません。
	本コネクタに接続したケーブルはシステム稼働中に抜かないでください。

8.6.7 FDDコネクタ

FDD(フロッピーディスクドライブ)接続用に34ピンのヘッダコネクタを使用することができます。



信号名	ピン番号	信号名	ピン番号
GND	1	/DIR	18
/DENSEL	2	GND	19
GND	3	/STEP	20
NC	4	GND	21
GND	5	/WDATA	22
/DRATE0	6	GND	23
GND	7	/WGATE	24
INDEX	8	GND	25
GND	9	/TRACK0	26
/MOTOR0	10	GND	27
GND	11	/WP	28
/DRVSEL1	12	GND	29
GND	13	/RDATA	30
/DRVSEL0	14	GND	31
GND	15	/HDSEL	32
/MOTOR1	16	GND	33
GND	17	DCHNG	34



⚠注意

	本コネクタに接続したケーブルは、システム稼働中に抜かないでください。
	FDDをご使用の場合は、FDDに付属の取扱説明書もご確認ください。
	通常FDケーブルには赤いラインがついており、1番ピンを表しています。FDケーブルの赤いラインを1番ピンに接続してください。

8.7 PCIバスピンアサインメント

PCIバスのピン番号および信号名は次の通りです。

信号名	ピン番号	ピン番号	信号名
-12V	B01	A01	TRST#
TCK	B02	A02	+12V
GND	B03	A03	TMS
TDO	B04	A04	TDI
+5V	B05	A05	+5V
+5V	B06	A06	INTA#
INTB#	B07	A07	INTC#
INTD#	B08	A08	+5V
REQ3#	B09	A09	CLKC
REQ1#	B10	A10	+5V(I/O)
GNT3#	B11	A11	CLKD
GND(Check1)	B12	A12	GND
GND	B13	A13	GND
CLKA	B14	A14	GNT1#
GND	B15	A15	RST#
CLKB	B16	A16	+5V(I/O)
GND	B17	A17	GNT0#
REQ0#	B18	A18	GND
+5V(I/O)	B19	A19	REQ2#
AD31	B20	A20	AD30
AD29	B21	A21	+3.3V
GND	B22	A22	AD28
AD27	B23	A23	AD26
AD25	B24	A24	GND
+3.3V	B25	A25	AD24
C/BE3#	B26	A26	GNT2#
AD23	B27	A27	+3.3V
GND	B28	A28	AD22
AD21	B29	A29	AD20
AD19	B30	A30	GND
+3.3V	B31	A31	AD18

信号名	ピン番号	ピン番号	信号名
AD17	B32	A32	AD16
C/BE2#	B33	A33	+3.3V
GND	B34	A34	FRAME#
IRDY#	B35	A35	GND
+3.3V	B36	A36	TRDY#
DEVSEL#	B37	A37	GND
GND	B38	A38	STOP#
LOCK#	B39	A39	+3.3V
PERR#	B40	A40	SDONE
+3.3V	B41	A41	SB0#
SERR#	B42	A42	GND
+3.3V	B43	A43	PAR
C/BE1#	B44	A44	AD15
AD14	B45	A45	+3.3V
GND	B46	A46	AD13
AD12	B47	A47	AD11
AD10	B48	A48	GND
GND	B49	A49	AD09
KEYWAY		KEYWAY	
KEYWAY		KEYWAY	
AD08	B52	A52	C/BE0#
AD07	B53	A53	+3.3V
+3.3V	B54	A54	AD06
AD05	B55	A55	AD04
AD03	B56	A56	GND
GND(Check2)	B57	A57	AD02
AD01	B58	A58	AD00
+5V(I/O)	B59	A59	+5V(I/O)
ACK64#	B60	A60	REQ64#
+5V	B61	A61	+5V
+5V	B62	A62	+5V

部は、無効な信号です。

REQ64#, ACK64#(64ビットデータアクセス制御信号)は常に無効で、プルアップされています。

部は、CPUモジュール固有の信号です。

第9章　BIOSセットアップ

BIOSはハードウェアを管理する組み込みプログラムで、システム起動時にはI/Oシステムを初期化します。これはPCIバスや、ビデオのディスプレイ，ディスクドライブ、およびキーボードといった接続機器を含みます。

BIOSセットアップでは、I/Oシステムの起動時設定を与えることができます。BIOSセットアップで設定された情報は、CMOS-RAMと呼ばれるバックアップメモリに保存されます。本製品では電源を切っても設定した内容が消失しないように、内蔵のリチウム電池で保持されます。

⚠注意

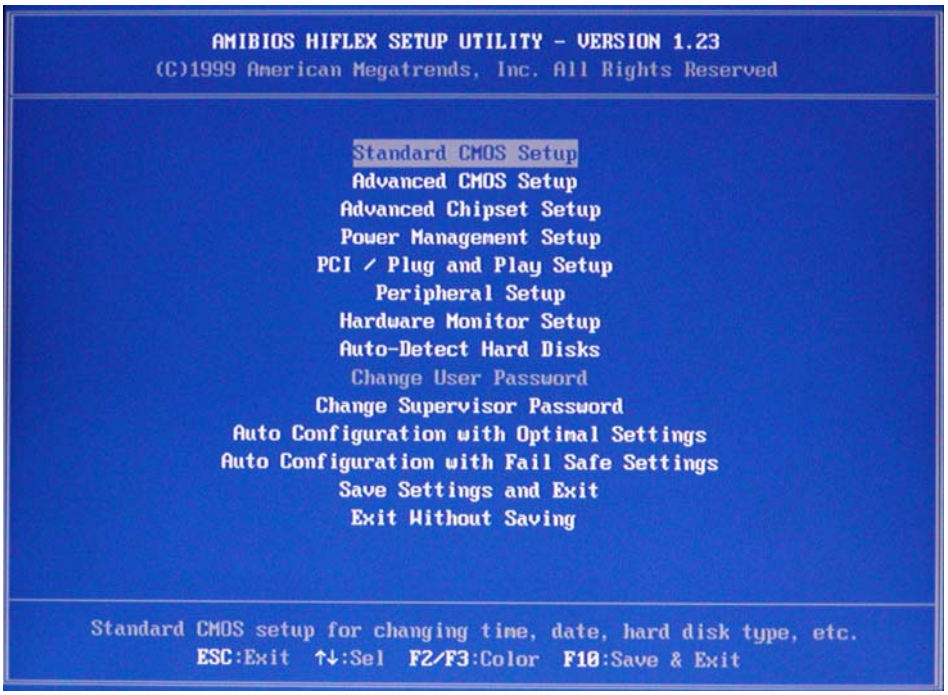
!	**リチウム電池が消耗するとBIOS設定値は初期値に戻ります。設定した内容はメモをとる等して忘れないようにご注意ください。**
!	**BIOSのセットアップはハードウェアに依存した詳細な項目も含まれています。このような項目を誤って変更すると、システムが起動しなくなったり動作が不安定になります。**

BIOSセットアッププログラムで使用するキーは以下の通りです。

キー	説　明	
	メインメニュー画面	サブメニュー画面
Page Up	選択された項目の値を1つ前の値に変更します。	
Page Down	選択された項目の値を1つ後の値に変更します。	
Enter	項目の選択	
Esc	設定を保存せず終了する場合は「Y」キー、終了しない場合は「N」キーを押します。	1つ前の状態に戻したり、1つ前の画面を表示します。
↑	1つ前の項目に移動します。	
↓	1つ後の項目に移動します。	
F1	メニューや項目のヘルプを表示します。	
F2/F3	BIOSセットアップ画面の背景色を変更します。	
F10	-	設定を保存せず終了する場合は「Y」キー、終了しない場合は「N」キーを押します。

9.1 BIOSセットアップの起動

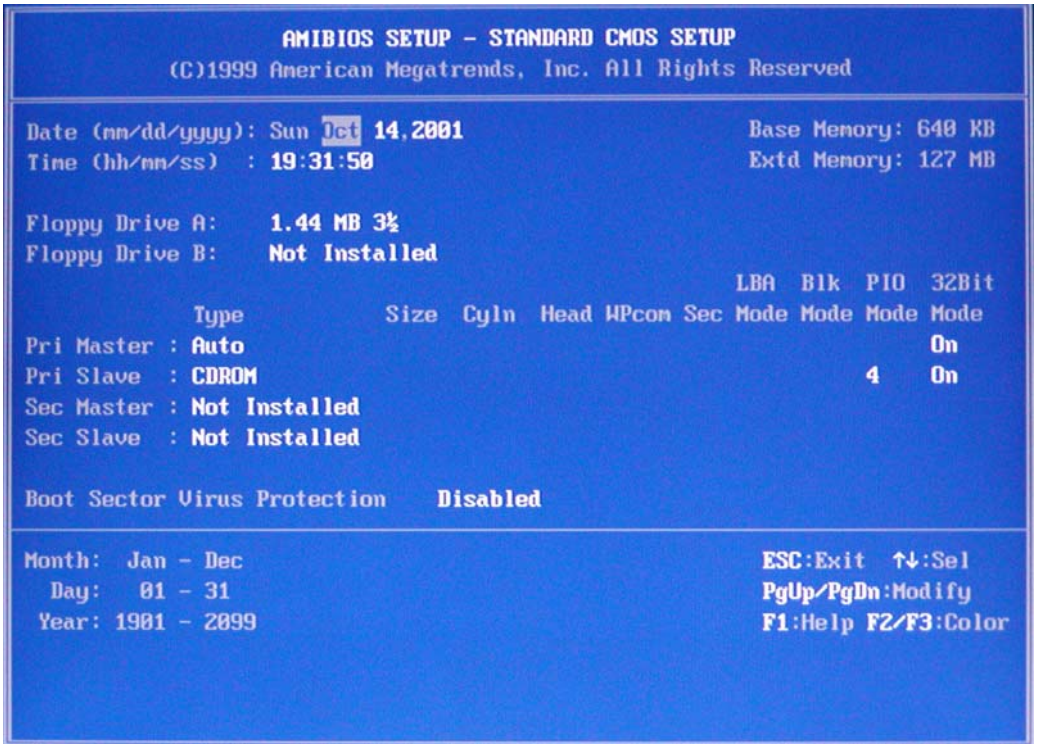
BIOSセットアップメニューを表示するにはPOST(Power On Self Test)実行中に「Delete」キーを押してください。以下のメニュー画面が表示されます。


AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITY - VERSION 1.23
(C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved
Standard CMOS Setup
Advanced CMOS Setup
Advanced Chipset Setup
Power Management Setup
PCI / Plug and Play Setup
Peripheral Setup
Hardware Monitor Setup
Auto-Detect Hard Disks
Change User Password
Change Supervisor Password
Auto Configuration with Optimal Settings
Auto Configuration with Fail Safe Settings
Save Settings and Exit
Exit Without Saving
Standard CMOS setup for changing time, date, hard disk type, etc.
ESC:Exit ↑↓:Sel F2/F3:Color F10:Save & Exit

設定項目	説　明
Standard CMOS Setup	基本構成の設定
Advanced COMS Setup	詳細なシステム設定
Advanced Chipset Setup	チップセットの設定
Power Management Setup	省電力機能の設定
PCI/Plug and Play Setup	PCI/プラグ&プレイの設定
Peripheral Setup	各種ポートの設定
Hardware Monitor Setup	各センサ表示
Auto-Detect Hard Disks	IDEハードディスクを自動認識させます。
Change User Password	ユーザパスワード設定
Change Supervisor Password	管理者パスワード設定
Auto Configuration with Optimal Settings	設定を「最適設定値」に戻します。
Auto Configuration with Fail Safe Settings	設定を「初期設定値」に戻します。 ※ 安定性を重視した設定のため、パフォーマンスは低下します。
Save Settings and Exit	変更した設定を保存して再起動します。
Exit Without Saving	変更した設定を保存せずに再起動します。 (設定は変更前に戻ります。)

■Standard CMOS Setup

日付や時刻, フロッピーディスクドライブ, IDEインタフェース上の装置の設定を行います。

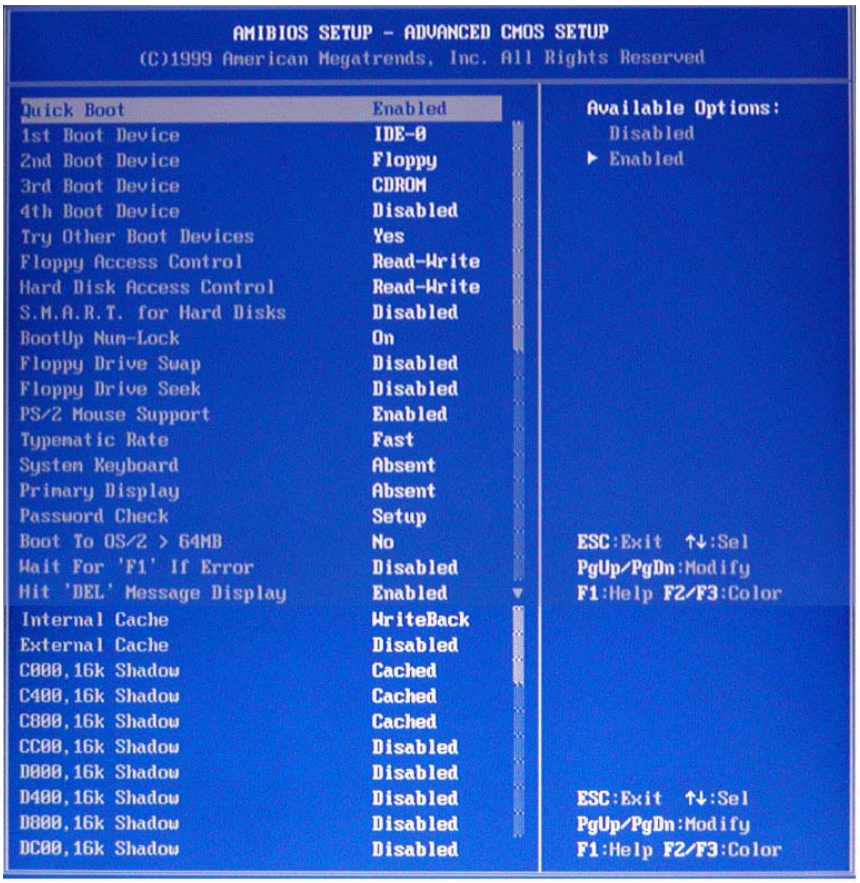

AMIBIOS SETUP - STANDARD CMOS SETUP
(C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved
Date (mm/dd/yyyy): Sun Oct 14,2001
Time (hh/mm/ss) : 19:31:50
Base Memory: 640 KB
Extd Memory: 127 MB
Floppy Drive A: 1.44 MB 3½
Floppy Drive B: Not Installed
Type Size Cyln Head WPcom Sec LBA Mode Blk Mode PIO Mode 32Bit Mode
Pri Master : Auto On
Pri Slave : CDROM 4 On
Sec Master : Not Installed
Sec Slave : Not Installed
Boot Sector Virus Protection Disabled
Month: Jan - Dec
Day: 01 - 31
Year: 1901 - 2099
ESC:Exit ↑↓:Sel
PgUp/PgDn:Modify
F1:Help F2/F3:Color

[ ]は初期値を表します。

設定項目	設定内容	説　明
Date(mm:dd:yy)	[hh:mm:ss]	日付(月:日:年)を設定します。
Time(hh:mm:ss)	[mm/dd/yy]	時刻(時:分:秒)を設定します。
Base Memory	[KB]	システムメモリ(コンベンショナルメモリ)量を表示します。
Extd Memory	[MB]	拡張メモリ量を表示します。
Floppy Drive A: Floppy Drive B:	[Not installed], [360kB $5^{1/4}$], [1.2 MB $5^{1/4}$], [720kB $3^{1/2}$], [1.44 MB $3^{1/2}$], [2.88 MB $3^{1/2}$]	接続しているフロッピーディスクドライブのタイプを選択します。
Pri Master Pri Slave Sec Master Sec Slave	[Auto]	IDE接続された機器のパラメータ値を表示します。 ※ ドライブは、全てAutoで使用することをお奨めします。
Boot Sector Virus Protection	[Disabled], [Enabled]	ハードディスクのブートセクタに感染するウィルスをチェックするかどうかを選択します。

■Advanced COMS Setup

起動する装置の順番や周辺装置についての設定を行います。



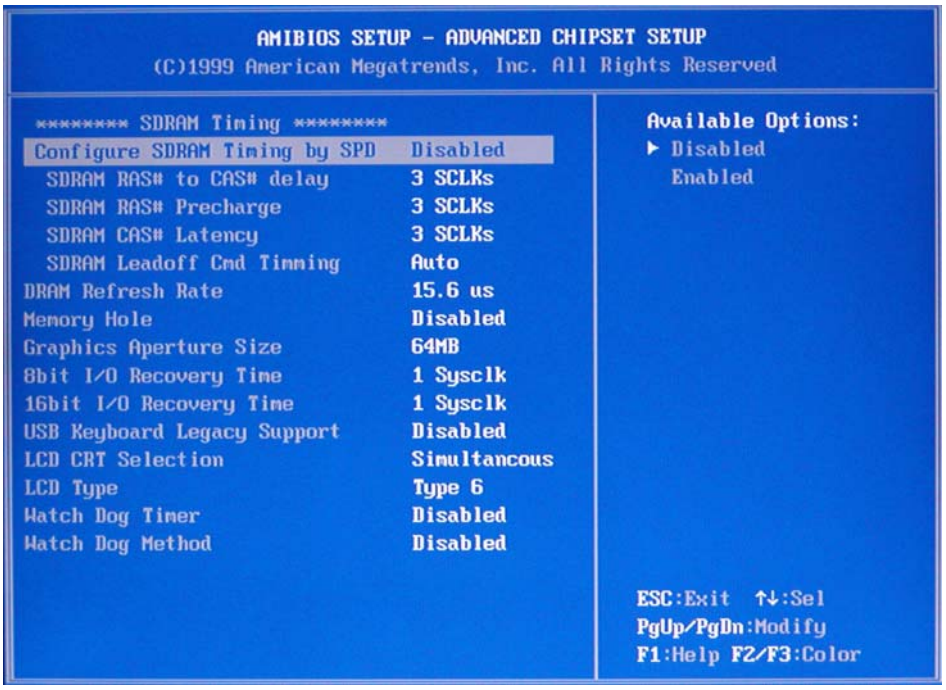
[ ]は初期値を表します。

設定項目	設定内容	説　明
Quick Boot	[Disabled], [Enabled]	電源を投入した後に行われるPOST(Power On Self Test)を短縮させるかどうかを表します。
1st Boot Device 2nd Boot Device 3rd Boot Device 4th Boot Device	[Disabled], [ZIP A], [ATAPI ZIP C]	システムが起動するデバイスの順序を決定します。
Try Other Boot Devices	[Yes], [No]	上記ブートデバイスで起動できなかった場合、他のデバイスから起動するかどうかを設定します。
Floppy Access Control	[Read-Write], [Read-only]	フロッピーディスクへのアクセス方法を指定します。
Hard Disk Access Control	[Read-Write], [Read-only]	ハードディスクへのアクセス方法を指定します。
S.M.A.R.T for Hard Disks	[Disabled], [Enabled]	S.M.A.R.T(Self Monitoring Analysis and Reporting Technology)の設定を指定します。 ハードディスク自身が自分の状態をモニタリングし、エラーが生じた場合にBIOSに報告する機能です。 この機能に対応したハードディスクドライブが必要であり、有効にした場合パフォーマンスが低下することがあります。

設定項目	設定内容	説　明
Boot UP Num-Lock	[Off], [On]	起動時NumLockの使用を許可するかどうか設定します。
Floppy Drive Swap	[Disabled], [Enabled]	フロッピーディスクドライブが2台接続されている場合、ドライブ番号を入れ替えるかどうかを指定します。
Floppy Drive Seek	[Disabled], [Enabled]	起動時にフロッピーディスクドライブをシークするかどうかを指定します。
PS/2 Mouse Support	[Disabled], [Enabled]	PS/2マウスをサポートするかどうかを設定します。
Typematic Rate	[Slow], [Fast]	キー入力速度を設定します。
System Keyboard	[Absent], [Present]	キーボードを取り付けるかどうかを選択します。
Primary Display	[Absent], [VGA/EGA], [CGA40×25], [CGA80×25], [Mono]	ディスプレイモニタの種類とディスプレイアダプタを指定します。
Password Check	[Always] [Setup]	本製品が起動するたび、もしくはBIOSのセットアップを実行するたびにパスワードチェックを行うように設定できます。 ※ パスワードが設定されている場合のみ有効です。
Boot to OS/2 > 64MB	[Yes], [No]	OS/2使用時、64MBメモリ制限解除を行うかどうかを設定します。
Wait for‘F1’If Error	[Disabled], [Enabled]	Systemを起動する時に周辺装置の接続状態をチェックします。この時接続されていない周辺装置があった場合、起動を止めて警告メッセージを出し、応答を待つかどうかを指定します。
Hit‘DEL’Message Display	[Disabled], [Enabled]	Systemを起動時に“Hit <DEL> if you want to run SETUP”を表示するかどうかを設定します。
Internal Cache	[Disabled], [WriteBack]	内部キャッシュ(L1)の動作を設定します。
External Cache	[Disabled], [WriteThru], [WriteBack]	外部キャッシュ(L2)の動作を設定します。
C000, 16k Shadow C400, 16k Shadow C800, 16k Shadow CC00, 16k Shadow D000, 16k Shadow D400, 16k Shadow D800, 16k Shadow DC00, 16k Shadow	[Disabled], [Enabled], [Cached]	本製品では設定はできますが、有効ではありません。(ISAオプションROMシャドー設定 ビデオROMエリアの内容を、対応しているRAMアドレスに書き込むかどうかを設定します。) C000～C800の設定 →Cached:書き込むと同時にキャッシュメモリから読み込み, 書き込み作業を並行します。 CC00～DC00の設定 →Disabled:書き込みません。

■Advanced Chipset Setup

チップセットに関する設定を行います。


AMIBIOS SETUP - ADVANCED CHIPSET SETUP
(C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved
******** SDRAM Timing ********
Configure SDRAM Timing by SPD Disabled
SDRAM RAS# to CAS# delay 3 SCLKs
SDRAM RAS# Precharge 3 SCLKs
SDRAM CAS# Latency 3 SCLKs
SDRAM Leadoff Cmd Timming Auto
DRAM Refresh Rate 15.6 us
Memory Hole Disabled
Graphics Aperture Size 64MB
8bit I/O Recovery Time 1 Sysclk
16bit I/O Recovery Time 1 Sysclk
USB Keyboard Legacy Support Disabled
LCD CRT Selection Simultancous
LCD Type Type 6
Watch Dog Timer Disabled
Watch Dog Method Disabled
Available Options:
▶ Disabled
Enabled
ESC:Exit ↑↓:Sel
PgUp/PgDn:Modify
F1:Help F2/F3:Color

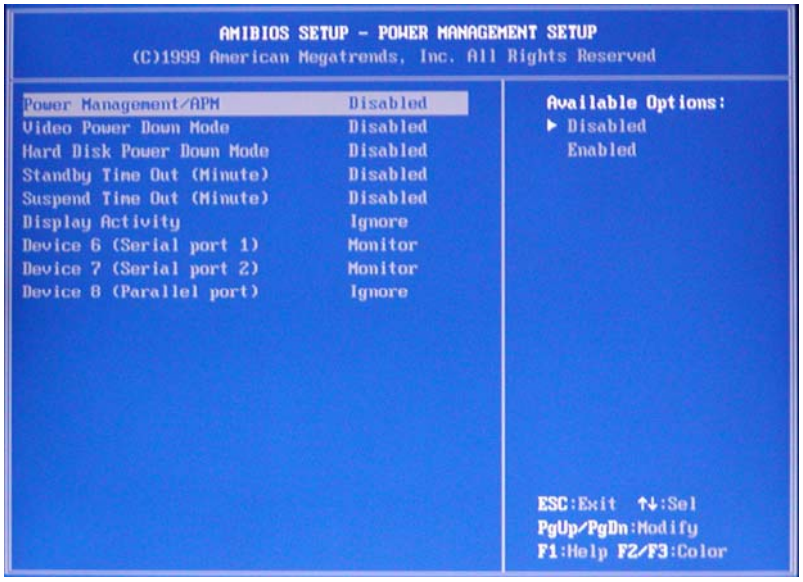
[ ]は初期値を表します。

設定項目	設定内容	説　明
Configure SDRAM Timing by SPD	[Disabled], [Enabled]	メモリモジュール内に搭載されているSPD(Serial Presence Detect)内の値からメモリに関する情報を自動設定するかどうかを指定します。
SDRAM RAS# to CAS# delay	[3 SCLKs], [2 SCLKs]	行アドレスを与えてから列アドレスを与えるまでの時間を指定します。
RAS# Precharge	[3 SCLKs], [2 SCLKs]	データの読み出し後に内部の記憶素子から情報が失われないようにするための動作時間を指定します
CAS# Latency	[3 SCLKs], [2 SCLKs]	メモリにアドレスを与えてから、実際に読み取りを行えるまでの時間を指定します。
Loadoff Cmd Timing	[4 SCLKs], [3 SCLKs], [Auto]	バースト転送時の最初の読み出し/書き込みを行うまでの時間を指定します。
DRAM Refresh Rate	[15.6 µs], [31.2 µs], [62.4 µs], [124.8 µs], [249.6 µs]	DRAMのリフレッシュ間隔を指定します。
Memory Hole	[Disabled], 512kB -640kB 15MB-16MB	ISA機器が使用するメモリアドレスを予約します。
Graphics Aperture Size	[4MB], [8MB], [16MB], [32MB] [64MB], [128MB], [256MB]	AGPがテキスチャマッピングのためにメインメモリを使用する容量を指定します。

設定項目	設定内容	説　明
8bit I/O Recovery Time	[Disabled], [1 Sysclk], [2 Sysclk], [3 Sysclk], [4 Sysclk], [5 Sysclk], [6 Sysclk], [7 Sysclk]	8ビットバス復帰遅延時間を設定します。
16bit I/O Recovery Time	[Disabled], [1 Sysclk], [2 Sysclk], [3 Sysclk], [4 Sysclk], [5 Sysclk], [6 Sysclk], [7 Sysclk]	16ビットバス復帰遅延時間を設定します。
USB Keyboard/Mouse Legacy Support	[Disabled], [Enabled]	レガシーキーボードおよびマウスのUSBサポートを有効にします。
LCD CRT Selection	[CRT Only], [LCD Only], [Simultaneous]	※ 本製品ではデジタルLCD出力には対応しておりません。CRT Onlyに設定してご使用ください。 (VGA出力とデジタルLCD出力のどちらを使用するか選択します。)
LCD Type	[Type1], [Type2], [Type3], [Type4], [Type5], [Type6], [Type7], [Type8～10], [Type11,12], [Type13], [Type14], [Type15], [Type16]	LCDを使用した時のLCDパネルタイプを選択します。
Watch Dog Timer	[Disabled], [30 Sec], [60 Sec], [120 Sec]	本製品ではウォッチドッグタイマはサポートしておりません。 (ウォッチドッグタイマのタイムアウト時間を設定します。)
Watch Dog Method	[Disabled] [IRQ 3], [IRQ4], [IRQ5], [IRQ6], [IRQ7], [IRQ9], [IRQ10], [IRQ11], [IRQ12]	本製品ではウォッチドッグタイマはサポートしておりません。 (ウォッチドッグタイマが作動した時の割り込み番号を設定します。)

■Power Management Setup

省電力に関する機能についての設定を行います。



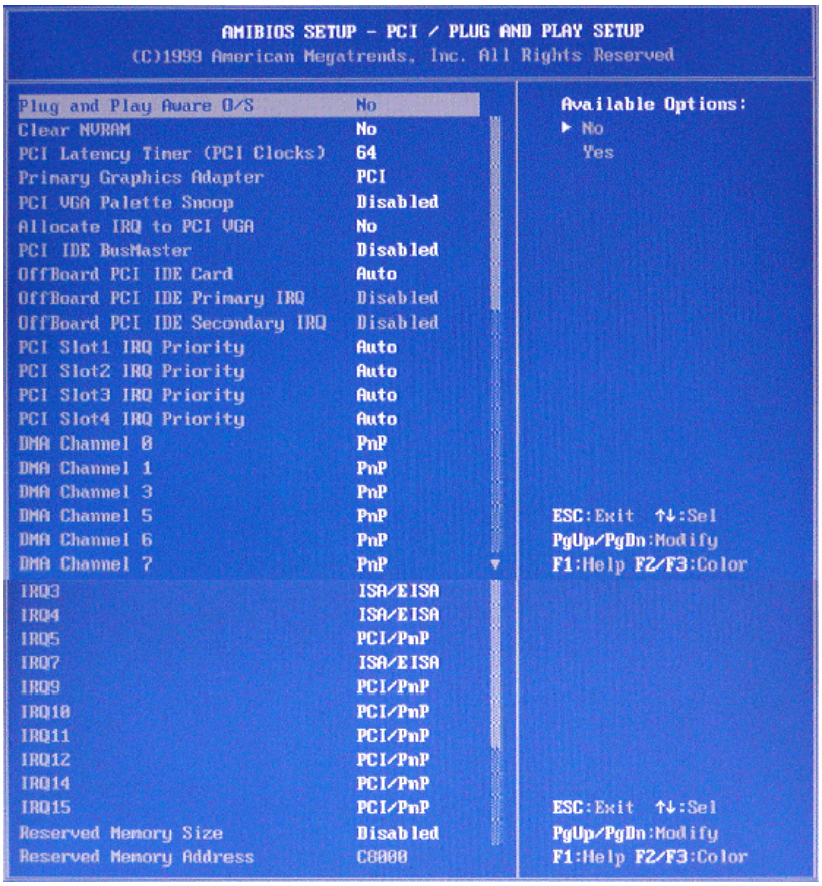
[ ]は初期値を表します。

設定項目	設定内容	説　明
Power Management/APM	[Disabled], [Enabled]	省電力管理及びAPM(Advanced Power Management)を使用するかどうかを指定します。
Video Power Down Mode	[Disabled], [Stand By], [Suspend]	一定のシステム停止期間後、ビデオサブシステムが移行する省電力状態を設定します。
Hard Disk Power Down Mode	[Disabled], [Stand By], [Suspend]	一定のシステム停止期間後、ハードディスクドライブが移行する省電力状態を設定します。
Standby Time Out	[Disabled], [1分], [2分], [4分], [8分], [10分], [20分], [30分], [40分], [50分], [60分]	Standbyモードに移行する時間を設定します。
Suspend Time Out	[Disabled], [1分], [2分], [4分], [8分], [10分], [20分], [30分], [40分], [50分], [60分]	Suspendモードに移行する時間を設定します。Suspendモードでは消費電力が大幅に節約されます。

設定項目	設定内容	説　明
Display Activity	[Ignore], [Monitor]	省電力モード復帰ディスプレイ表示アクション監視の設定をします。 「Monitor」にすると、ビデオに関する全てのアクションがスタンバイモードタイマをリセットします。
Device 6 (Serial port 1)	[Ignore], [Monitor]	省電力モード復帰監視の設定をします。(シリアルポート1)
Device 7 (Serial port 2)	[Ignore], [Monitor]	省電力モード復帰監視の設定をします。(シリアルポート2)
Device 8 (Parallel port)	[Ignore], [Monitor]	省電力モード復帰監視の設定をします。(パラレルポート)

■PCI/Plug and Play Setup

コンピュータが起動する際の設定を行います。



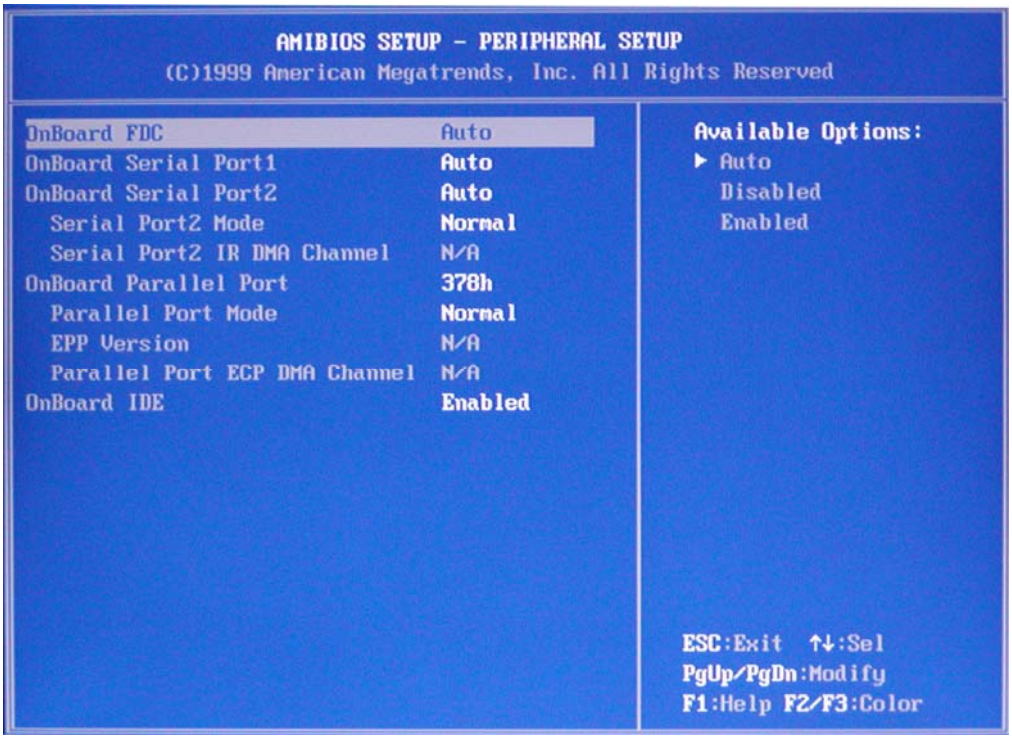
[ ]は初期値を表します。

設定項目	設定内容	説　明
Plug and Play Aware O/S	[No], [Yes]	コンピュータにインストールされているOSがプラグアンドプレイかどうかを指定します。
Clear NVRAM	[No], [Yes]	NVRAMの内容を初期化するかどうかを設定します。
PCI Latency Timer	[32PCI Clocks], [64PCI Clocks], [96PCI Clocks], [128PCI Clocks], [160PCI Clocks], [192PCI Clocks], [224PCI Clocks], [248PCI Clocks]	PCIに対してのウェイトを設定します
Primary Graphics Adapter	[PCI], [AGP]	プライマリグラフィックアダプタを選択します。
PCI VGA Palette Snoop	[Disabled], [Enabled]	PCIグラフィックカードに、本装置の内蔵パレットを使用するかどうかを設定します。
Allocate IRQ to PCI VGA	[Yes], [No]	PCIグラフィックカードおよび内蔵グラフィックのIRQを割り当てるかどうかを設定します。
PCI IDE BusMaster	[Disabled], [Enabled]	オンボードIDEバスマスタを設定します。

設定項目	設定内容	説　明
OffBoard PCI IDE Card	[Auto], [Slot1], [Slot2], [Slot3], [Slot4], [Slot5], [Slot6]	増設IDEカード使用設定 IDEコントローラを使用する場合に設定します。
OffBoard PCI IDE Primary IRQ	[Disabled], [INTA], [INTB], [INTC], [INTD], [Hardwired]	増設IDEカードプライマリチャンネルのPCI割り込みの設定をします。 [OffBoard PCI IDE Card]の設定がAuto以外の場合のみ設定できます。
OffBoard PCI IDE Secondary IRQ	[Disabled], [INTA], [INTB], [INTC], [INTD], [Hardwired]	増設IDEカードセカンダリチャンネルのPCI割り込みの設定をします。 [OffBoard PCI IDE Card]の設定がAuto以外の場合のみ設定できます。
PCI Slot1～4 IRQ Priority	[Auto], [3], [4], [5], [7], [9], [10], [11]	PCIスロットのIRQの優先度を設定します。
DMA Channel 0, 1, 3, 5, 6, 7	[PnP], [ISA/EISA]	指定されたDMAチャネルが使用するバスタイプを設定します。 「ISA/EISA」を選択することで、DMAチャネルを予約できます。
IRQ3, 4, 5, 7, 9, 10, 11, 12, 14, 15	[PCI/PnP], [ISA/EISA]	各IRQの設定を行います。 「ISA/EISA」を選択することで、IRQを予約できます。
Reserved memory Size	[Disabled], [16K], [32K], [64K]	ISAデバイス用メモリ予約を設定します。
Reserved memory Address	[C0000], [C4000], [C8000], [CC000], [D0000], [D4000], [D8000], [DC000]	ISAデバイス用メモリ予約のアドレスを設定します。 「Reserved memory size」がDisabled以外ならば設定できます。

■Peripheral Setup

周辺機器の設定を行います。



[ ]は初期値を表します。

設定項目	設定内容	説　明
OnBoard FDC	[Auto], [Disabled], [Enabled]	メインボードのフロッピーディスクドライブコントローラを使用可能にするか設定します。
OnBoard Serial Port1	[Auto], [Disabled], [3F8/COM1], [2F8/COM2], [3E8/COM3], [2E8/COM4]	メインボードのシリアルポート1を使用可能にし、ベースアドレスを指定します。 3F8/COM1:3F8hに設定 2F8/COM2:2F8hに設定 3E8/COM3:3E8hに設定 2E8/COM4:2E8hに設定
OnBoard Serial Port2	[Auto], [Disabled], [3F8/COM1], [2F8/COM2], [3E8/COM3], [2E8/COM4]	メインボードのシリアルポート2を使用可能にし、ベースアドレスを指定します。 3F8/COM1:3F8hに設定 2F8/COM2:2F8hに設定 3E8/COM3:3E8hに設定 2E8/COM4:2E8hに設定
Serial Port2 Mode	[Disabled]	本製品では設定はできますが有効ではありません。 (オンボードシリアルポート2のモードを設定します。)
Serial Port2 IR DMA Channel	[Auto]	赤外線ポートDMAチャンネルを設定します。 [Serial Port2 Mode]が“IrDA HDLC”, “IrDA4PPM”, “Consumer”, “Raw IR”を選択した場合のみ有効になります。

設定項目	設定内容	説　明
OnBoard Parallel Port	[Auto], [Disabled], [378], [278], [3BC]	メインボードのパラレルポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。 378:ベースアドレスを378hに設定 278:ベースアドレスを278hに設定 3BC:ベースアドレスを3BChに設定
Parallel Port Mode	[Normal], [Bi-Dir], [EPP], [ECP+EPP]	パラレルポートのモードを設定します。
EPP Version	[1.7], [1.9]	EPPバージョンの設定をします。 [Parallel Port Mode]が“EPP”および“ECP+EPP”の時のみ有効になります。
Parallel Port ECP DMA Channel	[1], [3]	パラレルポートのDMAチャネルを設定します。
OnBoard IDE	[Disabled], [Enabled]	メインボードのPCIローカルバスのIDEコントローラを使用可能にするか設定します。

■Hardware Monitor Setup

現在のシステムの温度や、CPUのファンスピード等が表示されます。

■Auto-Detect Hard Disks

接続されている装置を検出します。
装置が検出されると「Standard CMOS Setup」の項目にある[Type]が「Auto」以外の接続されている装置に変わります。
[Type]が「Auto」以外の設定になると、ドライブが認識できなくなることがあります。
[Auto-Detect Hard Disks]を実行した後は、「Standard CMOS Setup 」で[Type]の設定を「Auto」に変更してください。

■Change Supervisor Password

管理者パスワードの設定，変更を行います。使用している時はBIOSセットアップの全ての項目を設定できます。

設定方法

1. 「Enter new supervisor password:_　　」と表示されるのでパスワードを入力し、「Enter」キーを押してください。
2. 「Retype new supervisor password:_　　」と表示されるのでもう一度パスワードを入力し、「Enter」キーを押してください。
3. 「New Supervisor password installed, press any key to continue」と表示されるので、何かキーを押してください。
4. [Save Settings and Exit]を選択し、「Y」キーを押して、BIOSセットアップを終了します。

変更方法

1. 「Enter current supervisor password:_　　」と表示されるので、変更前のパスワードを入力し「Enter」キーを押してください。
2. 「Enter new supervisor password:_　　」と表示されるので、変更後のパスワードを入力し「Enter」キーを押してください。
3. 「Retype new supervisor password:_　　」と表示されるので、もう一度変更後のパスワードを入力し、「Enter」キーを押してください。
4. 「New Supervisor password installed, press any key to continue」と表示されるので、何かキーを押してください。
5. [Save Settings and Exit]を選択し「Y」キーを押して、BIOSセットアップを終了します。

解除方法

1. 「Enter current supervisor password:_　　」と表示されるので、変更前のパスワードを入力し「Enter」キーを押してください。
2. 「Enter new supervisor password:_　　」と表示されるので、何も入力せずに「Enter」キーを押してください。
3. 「Supervisor password installed, press any key to continue」と表示されるので、何かキーを押してください。
4. [Save Settings and Exit]を選択し、「Y」キーを押して、BIOSセットアップを終了します。

BIOSセットアップを起動すると「Enter CURRENT Password」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力するとBIOSセットアップ画面が表示されます。
[Advanced CMOS Setup]のPassword Checkの項目を変更することにより、パスワードチェックのタイミングを変更することができます。(『43ページ　■Advanced COMS Setup』参照)

⚠注意

!	**画面上にパスワードは表示されません。パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えておいてください。**
!	**パスワードを登録した場合は、省電力モード時から解除する際に、パスワードの入力が必要になります。**
!	**パスワードを忘れてしまった場合は、弊社カスタマーサポートセンタへお問い合わせください。**

■Change User Password

ユーザパスワードの設定, 変更を行います。

設定方法

1. 「Enter new user password:_　　」と表示されるのでパスワードを入力し、「Enter」キーを押してください。
2. 「Retype new user password:_　　」と表示されるのでもう一度パスワードを入力し、「Enter」キーを押してください。
3. 「New user password installed, press any key to continue」と表示されるので、何かキーを押してください。
4. [Save Settings and Exit]を選択し、「Y」キーを押して、BIOSセットアップを終了します。

[Change User Password]でパスワードを設定している場合、コンピュータを起動すると「Enter Current Password」というメッセージが表示されます。設定したユーザパスワードを入力すると画面が表示されます。

⚠注意

!	**ユーザパスワードでコンピュータを起動した場合は、**BIOS**セットアップで設定できる項目は制限されます。**
!	[Supervisor Password]**が設定されていないと、**[User Password]**を設定することはできません。**
!	**パスワードを忘れてしまった場合は、弊社カスタマーサポートセンタへお問い合わせください。**

第10章　メンテナンス

⚠注意

	本製品に直接触れると、人体に発生する静電気により故障する可能性があります。取り付け・取り外しの時は、静電気防止用手袋を装着するか、事前に金属部分に触れて人体の静電気を放電してください。
	以下の作業は、必ず電源ケーブルを抜いて行ってください。
	電源を切った直後は、CPUモジュールおよびユニット内部は熱くなっています。CPUモジュールの取り外しは、電源を切った後、数分待ってから行ってください。

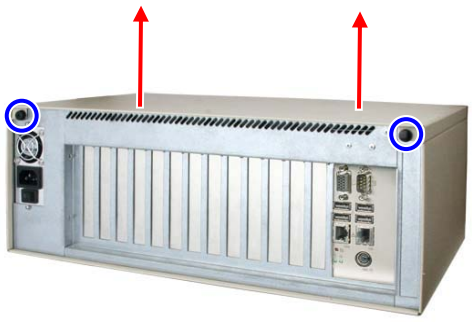
10.1　CPUモジュールの取り外し

本製品に組み込まれているCPUモジュールはシステムから取り外すことができます。
※　図は実際の製品と異なる場合があります。

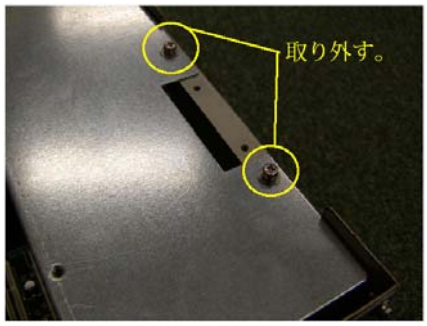
①システムの電源が“OFF”であることを確認し、電源ケーブルを抜きます。

②CPUモジュールに接続しているケーブル類を外します。

③カバーを留めるネジを外し、カバーを外します。

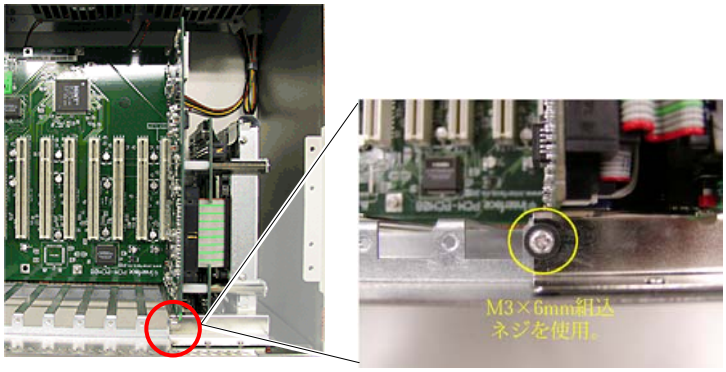


④CPUモジュールカバーを固定しているネジを外します。

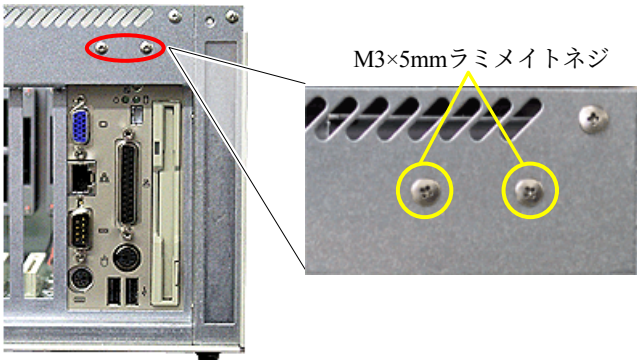


⑤CPUモジュールを固定しているネジを外します。

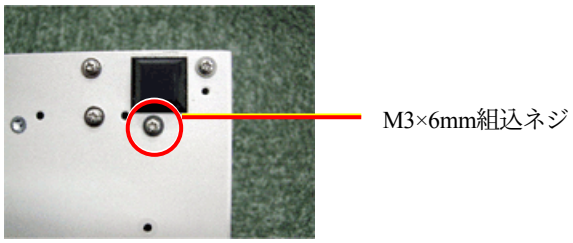
<上面>



<背面>



<底面>



⑥CPUモジュールを指先でつまんで軽く左右にゆすりながら、CPUモジュールをシステムユニットから取り出します。

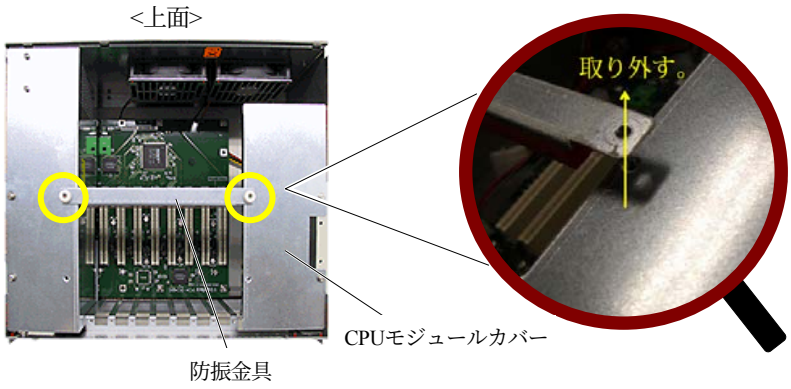
10.2 CPUモジュールの実装

メンテナンス等で取り外した際には、以下の手順で実装を行ってください。
※ 図は実際の製品と異なる場合があります。

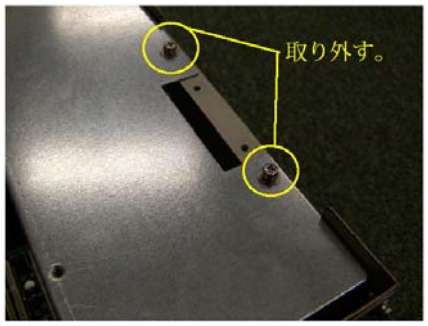
①システムの電源が“OFF”であることを確認し、電源ケーブルを抜きます。

②カバーを留めるネジを外し、カバーを外します。

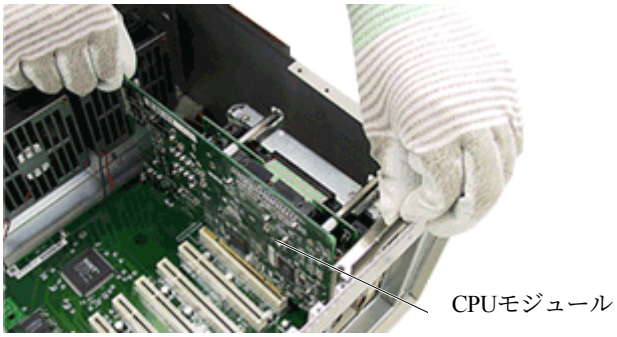
③ネジを外し、防振金具を外します。



④CPUモジュールカバーを固定しているネジを外し、CPUモジュールカバーを取り外します。



⑤システムスロットにCPUモジュールを実装します。

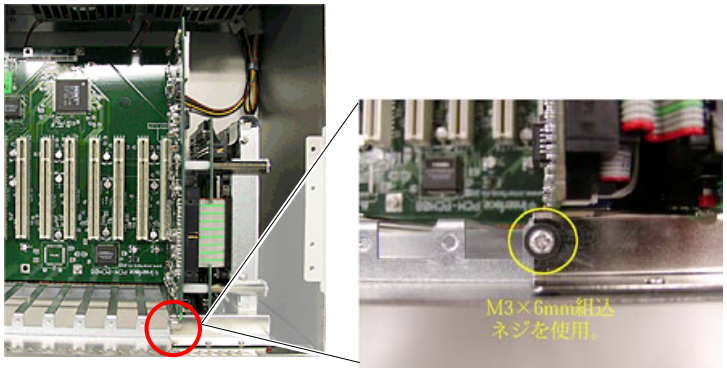


⚠注意

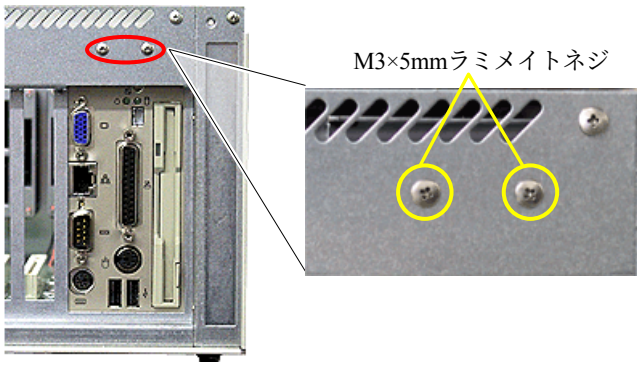
	システムスロットには、CPUモジュール以外は実装しないでください。誤動作の原因となります。

⑥下記のネジを留め、CPUモジュールを固定します。

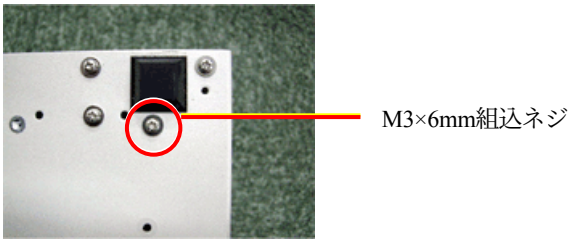
<上面>



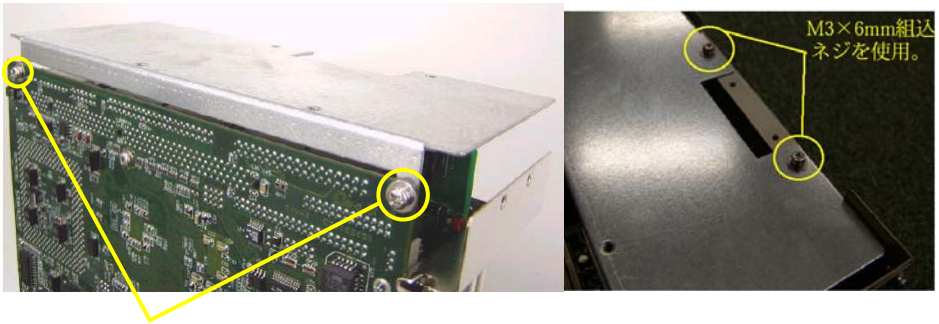
<背面>



<底面>



⑦実装したモジュールに、CPUモジュールカバーを取り付けます。



⑧防振金具を取り付けます。

⑨筐体カバーをはめ込み、ネジを留めます。

以上でシステムへの実装は完了です。

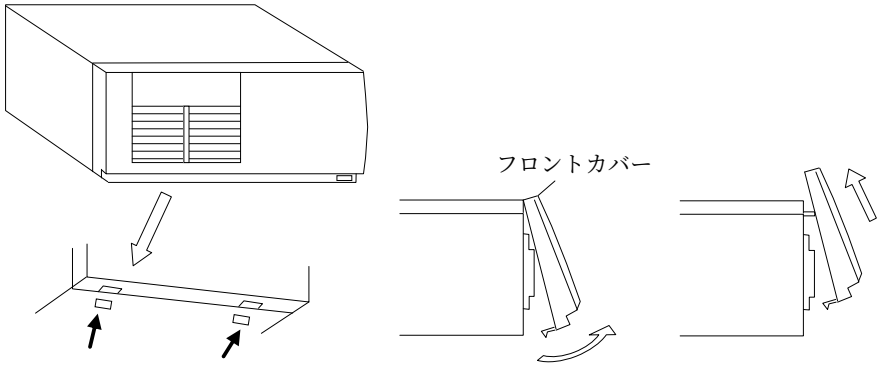
第11章　防塵フィルタ清掃

11.1　防塵フィルタの清掃

本製品の防塵フィルタにホコリや異物がつまったまま使用を続けると、冷却能力が低下しますので定期的に清掃を行ってください。
清掃の前にユニットの主電源スイッチが“OFF”であることを確認し、電源ケーブルを外します。

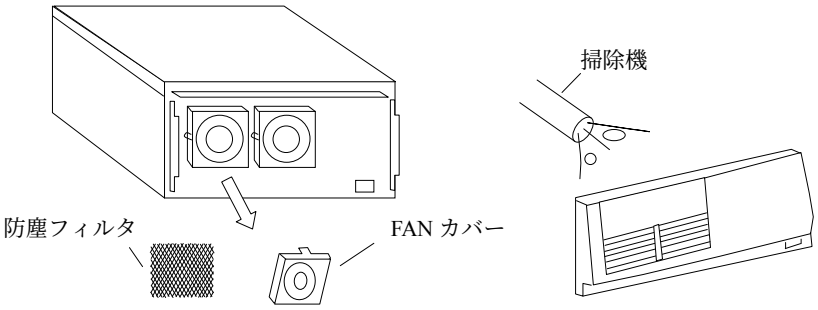
清掃の手順

1. フロントカバーを取り外します。



①底面の爪を押しながら…　②フロントカバーを矢印の方向に引っ張り…　③上に持ち上げて外します。

2. 防塵フィルタ, フロントカバーの清掃



①FAN カバーを外し、防塵フィルタを取り出して中性洗剤で水洗いをします。
②防塵フィルタの洗浄後、陰干しして乾燥したら元の通り取り付けます。
③フロントカバーのスリット内につまっているホコリや異物を掃除機等で取り除きます。
④外した時の逆の手順で取り付けてください。

⚠注意

!	**製品によって外観**, FAN**の個数は異なりますが、メンテナンス方法は共通です。** **防塵フィルタ適合型式は、**GRM80-30**です。**
!	**清掃の時期は、使用される環境により異なりますので、お客様にて設定してください。**

第12章 オプション品一覧

12.1 オプション品一覧

詳細は弊社Web site(www.interface.co.jp)を参照してください。

ブランクパネル

型 式	説 明
PCI-PAN1	PCIブランクパネル1枚
PCI-PAN5	PCIブランクパネル5枚

第13章　情報サービス

13.1　情報の入手方法

弊社Web siteでは様々なサービスを提供しております。

日本:　www.interface.co.jp
海外:　www.interface-world.com

ダウンロードするためには、ユーザID登録が必要になります。

製品情報	新製品情報, 製品の個別仕様, セレクションガイド
サポート	オンラインQA, 製品修理, 貸出サービス, FAQ, 用語集
購入方法	販売店一覧, 通信販売
ダウンロード	マニュアル, ソフトウェア, チュートリアル(入門書)

※ Web siteの内容については、随時更新していますので、上記と異なる場合があります。

13.2　製品使用登録

弊社Web siteより製品使用登録を行うことで、保証期間が最大2年延長になります。
製品到着後1年以内に登録してください。
http://www.interface.co.jp/usr_register/prdc_regist.asp

製品の保証期間は、Web siteの製品保証照会システムにて確認できます。
http://www.interface.co.jp/support/warranty/warranty_info.asp

13.3　FAQ(よく寄せられる質問)

弊社Web site上に製品のFAQを掲載しています。
製品に関する質問等がございましたら、FAQを参照してください。

改訂履歴

Ver.	年　月	改　訂　内　容
1.0	2013年12月	新規作成

このマニュアルは、製品の改良その他により将来予告なく改訂しますので、予めご了承ください。